

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウジツシン モリノミヤイヨウガクケン 学校法人 森ノ宮医療学園							
フリガナ大学の名称	モリノミヤイヨウガク 森ノ宮医療大学（Morinomiya University of Medical Sciences）							
大学本部の位置	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号							
大学の目的	豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。							
新設学部等の目的	本学は、「豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。」を目的としている。このチーム医療の実践の強化を目指し、令和2年4月から診療放射線学科（入学定員80名）を設置するとともに、既設の臨床検査学科の入学定員を10名増とし、収容定員を1,520名から1,880名に増やす。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	保健医療学部 【Faculty of Health Sciences】	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号 同上 同上 同上 同上
	鍼灸学科 【Department of Acupuncture】	4	60	—	240	学士(鍼灸学) (B.S. in Acupuncture)	平成19年4月 第1年次	
	理学療法学科 【Department of Physical Therapy】	4	70	—	280	学士(理学療法学) (B.S. in Physical Therapy)	平成19年4月 第1年次	
	看護学科 【Department of Nursing】	4	90	—	360	学士(看護学) (B.S. in Nursing)	平成23年4月 第1年次	
	臨床検査学科 【Department of Medical Technology】	4	70 (60)	—	280 (240)	学士(臨床検査学) (Bachelor of Medical Technology)	令和2年4月 第1年次	
	作業療法学科 【Department of Occupational Therapy】	4	40	—	160	学士(作業療法学) (Bachelor of Occupational Therapy)	平成28年4月 第1年次	
	臨床工学科 【Department of Clinical Engineering】	4	60	—	240	学士(臨床工学) (B.S. in Medical Engineering)	平成30年4月 第1年次	
診療放射線学科 【Department of Radio Engineering】	4	80 (0)	—	320 (0)	学士(診療放射線学) (B.S. in Radiological Sciences)	令和2年4月 第1年次		
計		470 (380)	—	1,880 (1,520)				平成31年3月収定増認可申請中 平成31年4月届出済

同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		・大学院保健医療学研究科看護学専攻修士課程 (6) (平成31年4月届出済) 保健医療学部 ・診療放射線学科 (80) (平成31年3月取定増認可申請中) (平成31年4月届出済)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設	保健医療学部 鍼灸学科	人	人	人	人	人	人	人	
			11 (11)	2 (2)	6 (6)	3 (3)	22 (22)	2 (2)	64 (64)	
			理学療法学科	8 (8)	5 (5)	2 (2)	3 (3)	18 (18)	2 (2)	45 (45)
			看護学科	14 (14)	3 (3)	11 (11)	6 (6)	34 (34)	1 (1)	40 (40)
			臨床検査学科	10 (10)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	30 (30)
			作業療法学科	5 (5)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	37 (37)
			臨床工学科	4 (4)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	31 (31)
	診療放射線学科	6 (6)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	36 (36)		
	計	58 (58)	15 (15)	25 (25)	18 (18)	116 (116)	5 (5)	— (—)		
既設	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
合計		58 (58)	15 (15)	25 (25)	18 (18)	116 (116)	5 (5)	— (—)		
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計			
	事務職員		48 (48)		8 (8)		56 (56)			
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	図書館専門職員		1 (1)		10 (10)		11 (11)			
	その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
計		49 (49)		18 (18)		67 (67)				
校地等	区分	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	32,171.51 m ²	0 m ²		0 m ²		32,171.51 m ²			
	運動場用地	0 m ²	0 m ²		0 m ²		0 m ²			
	小計	32,171.51 m ²	0 m ²		0 m ²		32,171.51 m ²			
	その他	765.14 m ²	0 m ²		0 m ²		765.14 m ²			
合計	32,936.65 m ²	0 m ²		0 m ²		32,936.65 m ²				
校舎		専用	共用		共用する他の学校等の専用		計			
		27,108.06 m ² (27,108.06 m ²)	0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		27,108.06 m ² (27,108.06 m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	48 室	18 室	48 室	1 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数		(個人56室, 共同26室)			
		大学全体			82 室					

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕			視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	大学全体	30,400 [1,740] (29,200 [1,700])	440 [62] (435 [60])	19 [10] (19 [10])	906 (877)	1,695 (1,695)	275 (275)			
	計	30,400 [1,740] (29,200 [1,700])	440 [62] (435 [60])	19 [10] (19 [10])	906 (877)	1,695 (1,695)	275 (275)			
	図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体	
		1027.17 m ²		274 席		80,000 冊				
	体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		1284.1 m ²		多目的スポーツ施設 1		該当なし				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		280千円	280千円	280千円	280千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		9,000千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	106,000千円	36,000千円	36,000千円	36,000千円	36,000千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
			1,800千円	1,650 千円	1,650 千円	1,650 千円	— 千円	— 千円	鍼灸学科	
			1,800千円	1,710 千円	1,710 千円	1,710 千円	— 千円	— 千円	理学療法学科	
			1,800千円	1,720 千円	1,720 千円	1,720 千円	— 千円	— 千円	看護学科	
			1,800千円	1,640 千円	1,640 千円	1,640 千円	— 千円	— 千円	臨床検査学科	
		1,800千円	1,710 千円	1,710 千円	1,710 千円	— 千円	— 千円	作業療法学科		
		1,800千円	1,640 千円	1,640 千円	1,640 千円	— 千円	— 千円	臨床工学科		
	1,800千円	1,640 千円	1,640 千円	1,640 千円	— 千円	— 千円	診療放射線学科			
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					大学全体	
既設大学等の状況	大学の名称		森ノ宮医療大学							
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
			年	人	年次人	人		倍		
	保健医療学部							1.13		
	鍼灸学科		4	60	—	240	学士(鍼灸学)	1.12	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号
	理学療法学科		4	70	—	260	学士(理学療法学)	1.08	平成19年度	
	看護学科		4	90	—	340	学士(看護学)	1.06	平成23年度	
	臨床検査学科		4	60	—	240	学士(臨床検査学)	1.20	平成28年度	
	作業療法学科		4	40	—	160	学士(作業療法学)	1.26	平成28年度	
	臨床工学科		4	60	—	120	学士(臨床工学)	1.17	平成30年度	
保健医療学研究科										
保健医療学専攻		2	6	—	12	修士(保健医療学)	1.33	平成23年度		
医療科学専攻		3	2	—	4	博士(医療科学)	1.25	平成30年度		
附属施設の概要		名称：森ノ宮医療大学附属施術所 目的：鍼灸学科の学内臨床実習のため 所在地：大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号(森ノ宮医療大学内) 設置年月日：平成19年4月 規模等：床面積180m ²								

教育課程等の概要																
(保健医療学部臨床検査学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2				○		6		1	3		兼1	オムニバス 共開(一部)
		物理学	1後	2			○								兼1	
		生物学	1前	2			○								兼1	
		化学	1前	2			○								兼1	
		情報処理	1前	2					○						兼1	
		統計学	1後	2					○						兼1	
	人間理解と社会	心理学	1前	2			○								兼1	
		生命倫理学	1後	2			○								兼1	
		哲学	1後	2			○								兼1	
		社会福祉学	1後	2			○								兼1	
		日本国憲法	1後	2			○								兼1	
		東洋史概説	3前	2			○								兼1	
		西洋史概説	3後	2			○								兼1	
語学	英語 I (初級)	1前	2					○						兼2		
	英語 II (中級)	1後	2					○						兼2		
	英会話	2前	2					○						兼1		
	医学英語	2後	2					○						兼1		
	基礎英語演習	2前	2					○						兼1		
	応用英語演習	2後	2					○						兼1		
小計 (19科目)		—	14	24	0			—	6	0	1	3	0	兼12	—	
学部共通科目群	保健医療	MBS (Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			○			6		1	3			
		チーム医療見学実習	1前	1				○		6		1	3			
		医療コミュニケーション	2前	1			○			6		1	3			
		チーム医療論	2後	1				○		6		1	3			
		IPW論	3前	1				○		6		1	3			
		基礎体育	1後		1			○							兼1	
		健康科学 (スポーツ社会学を含む)	1前	2				○							兼1	
		健康管理学 I	2前	2				○							兼1	
		健康管理学 II	2後	2				○							兼1	
		栄養学	2後	2				○							兼1	
		身体運動科学	2後	2				○							兼1	
		東洋医療概論	3前	2				○							兼1	
		統合医療概論	3前	2				○							兼3	
	小計 (13科目)		—	5	15	0			—	6	0	1	3	0	兼9	オムニバス
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能	人体の構造 I	1前	2			○							兼1	
			人体の構造 II	1後	2			○							兼1	
			人体の構造実習	1後	1					○	1					
			人体の機能 I	1前	2			○							兼1	
			人体の機能 II	1後	2			○							兼1	
			生化学特論	1後	2			○			1					
			生化学実習	1後	2					○	1		1			
			分析化学	2前	1						1			1		
			小児医学	1後	2			○			1					
			老年医学	2前	2			○			1					
			救急災害医学	2前	2			○			1				兼1	
			薬理学	2後	2			○			1					
			リハビリテーション概論	3前	2			○							兼1	
	臨床検査学	臨床検査学総論	1前	2			○			3					オムニバス	
		検査技術科学序論	1後	2			○			7		1	3		オムニバス	
		病理学	2前	2			○			1						
		保健と臨床検査医学	医学概論	1前	2			○			2					オムニバス
			公衆衛生学	1前	2			○			1					
		工学療	医用工学概論	2前	2			○								兼1
			医用工学実習	2前	1					○						兼1
小計 (20科目)		—	25	12	0			—	8	0	1	3	0	兼5		

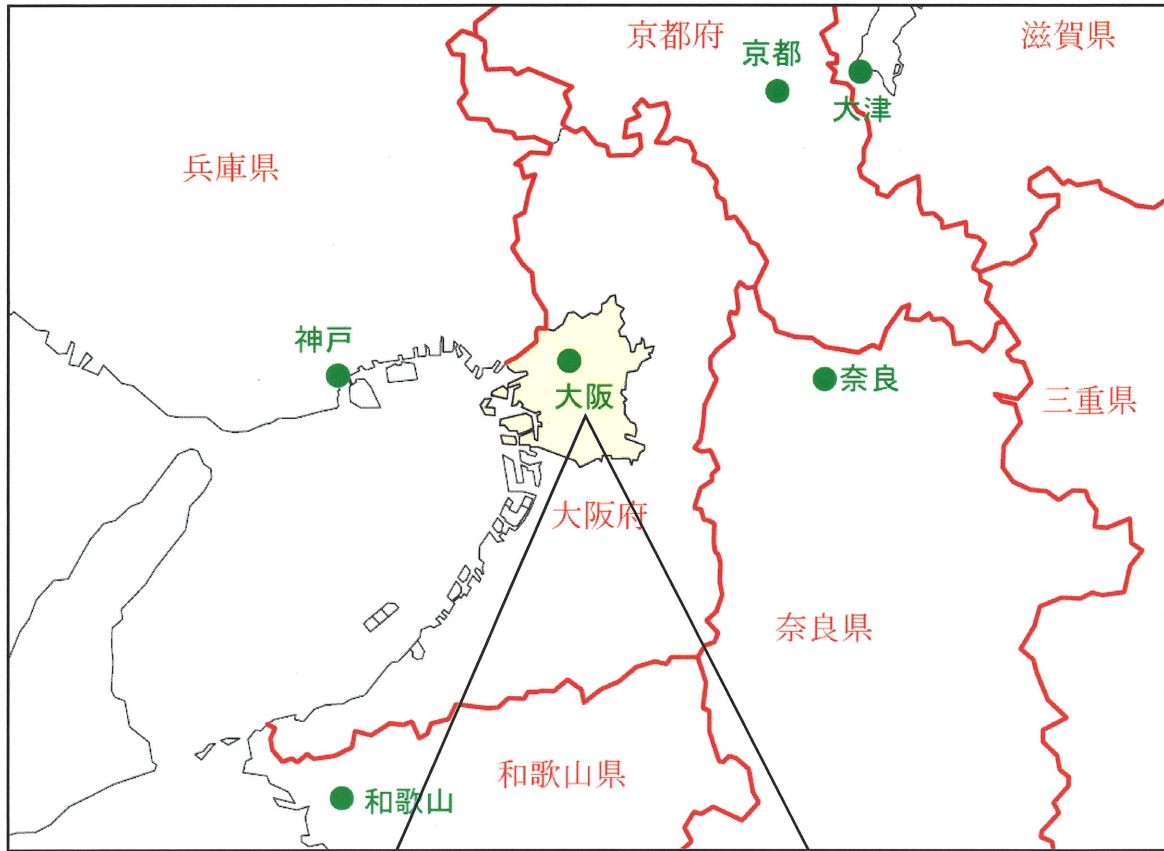
(保健医療学部臨床検査学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科専門科目群	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	2前	2			○			1						
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			○			1						
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			○					1				兼1
		血液検査学Ⅱ	2後	2			○					1				兼1
		血液検査学実習	3前	1					○			1				兼1
		病理検査学	3前	2			○			1						
		病理検査学実習	3前	1					○		1			1		
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			○			1						
		臨床化学検査学Ⅱ(放射性同位元素学含む)	2後	2			○			1						
		臨床化学検査学実習	3前	1					○				1			
		遺伝子検査学	2前	2			○			1						
		遺伝子検査学実習	2後	1					○		1			1		
		生命工学概論	2後	1			○			1						
	病因・生体防御検査学	微生物検査学Ⅰ	1後	2			○									兼1
		微生物検査学Ⅱ	2前	2			○									兼1
		微生物検査学実習	2後	1					○				1			兼1
		寄生虫検査学	3前	1					○				1			兼1
		免疫検査学Ⅰ	2前	2			○			1						
		免疫検査学Ⅱ	2後	2			○			1						
		免疫検査学実習	3前	1					○		1					
		輸血・移植検査学	2後	2			○			1						兼1
	生理機能検査学	輸血・移植検査学実習	3前	1					○				1			兼1
		生理機能検査学Ⅰ	1後	2			○			2						オムニバス
		生理機能検査学Ⅱ	2前	2			○			2						オムニバス
		生理機能検査学実習Ⅰ	2前	1					○							
		生理機能検査学実習Ⅱ	2後	1					○							
		画像検査学	3後	2			○			2						オムニバス
		超音波検査学Ⅰ	3前	1					○			1	1			
	超音波検査学Ⅱ	3前	1					○			1	1				
	検査総合管理学	検査総合管理学	3後	2			○			2						
		医療情報科学	3後	2			○			1						
		関係法規	3後	1			○			1						
	全医管理実習	医療安全管理学	3後	1			○			1						
		総合領域	臨床薬理学	3前		2		○			1					
	食品衛生学		3後		1		○									兼1
	食品関係法規		3後		1		○			1						
	総合演習Ⅰ		4通	2					○	8		1	3			
	総合演習Ⅱ		4通	2					○	8		1	3			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3通	2					○	8		1	3			
		卒業研究Ⅱ	4通	2					○	8		1	3			
実習地	臨地実習	3後	7					○	8		1	3				
細胞診断学	臨床細胞学概論	2前		1		○			2			1				
	臨床細胞学実習Ⅰ	2後		1				○	2			1				
	臨床細胞学実習Ⅱ	3前		1				○	2			1				
	臨床細胞学総論Ⅰ	3前		1				○	2			1				
	臨床細胞学総論Ⅱ	3前		1				○	2			1				
	臨床細胞学各論Ⅰ	3後		1				○	2			1				
	臨床細胞学各論Ⅱ	3後		1				○	2			1				
	臨床細胞学各論Ⅲ	3後		1				○	2			1				
	細胞診断学実習Ⅰ	4前		3				○	2			1				
	細胞診断学実習Ⅱ	4前		3				○	2			1				
	細胞診断学実習Ⅲ	4後		3				○	2			1				
	細胞診断学特別実習Ⅰ	4通		3				○	2			1				
細胞診断学特別実習Ⅱ	4通		3				○	2			1					
小計(56科目)			-	69	27	0	-	-	10	0	1	3	0	兼5	-	
合計(108科目)			-	113	78	0	-	-	10	0	1	3	0	兼30	-	
学位又は称号		学士(臨床検査学)		学位又は学科の分野		保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
4年以上在籍し、教養科目群から必修14単位+選択2単位以上、学部共通科目群から必修5単位+選択3単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目から必修25単位+選択2単位、学科専門科目群の専門科目から必修69単位+選択2単位の計124単位以上修得すること。なお、半期で履修できる単位数は上限24単位、通年では44単位以内とする。								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				

学校法人森ノ宮医療学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和元年度	入学 編入学 収容			→	令和2年度	入学 編入学 収容			変更の事由	
	定員	定員	定員			定員	定員	定員		
森ノ宮医療大学					森ノ宮医療大学					
保健医療学部					保健医療学部					
	鍼灸学科	60	-	240		鍼灸学科	60	-	240	
	理学療法学科	70	-	280		理学療法学科	70	-	280	
	看護学科	90	-	360		看護学科	90	-	360	
	臨床検査学科	60	-	240		臨床検査学科	<u>70</u>	-	<u>280</u>	定員変更(10)
	作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160	
	臨床工学科	60	-	240		臨床工学科	60	-	240	
						診療放射線学科	<u>80</u>	-	<u>320</u>	学科の設置(届出済)
	計	380	-	1520		計	<u>470</u>	-	<u>1880</u>	
森ノ宮医療大学大学院					森ノ宮医療大学大学院					
保健医療学研究科					保健医療学研究科					
	保健医療学専攻(M)	6	-	12		保健医療学専攻(M)	6	-	12	
	医療科学専攻(D)	2	-	6		看護学専攻(M)	<u>6</u>	-	<u>12</u>	専攻の設置(届出済)
						医療科学専攻(D)	2	-	6	
	計	8	-	18		計	<u>14</u>	-	<u>30</u>	
森ノ宮医療学園専門学校					森ノ宮医療学園専門学校					
鍼灸学科					鍼灸学科					
	昼間部	90	-	270		昼間部	<u>80</u>	-	<u>240</u>	定員変更△10
	夜間部	30	-	90		夜間部	30	-	90	
柔道整復学科					柔道整復学科					
	昼間部	90	-	270		昼間部	<u>60</u>	-	<u>180</u>	定員変更△30
	夜間部	30	-	90		夜間部	30	-	90	
	計	240	-	720		計	<u>200</u>	-	<u>600</u>	

森ノ宮医療大学 府内における位置関係



森ノ宮医療大学 最寄り駅からの距離、周辺地図






大阪メトロ中央線 コスモスクエア駅より約 80m 徒歩 1 分

森ノ宮医療大学 校舎、運動場等の配置図



森ノ宮医療大学の校地面積…32,171.51 m²

森ノ宮医療大学の校舎面積…27,108.06 m²

-  全学で共用する校舎 (一部、臨床検査学科の専用部分を含む)
-  全学で共用する校舎 (一部、他学科等の専用部分を含む)
-  全学で共用する校舎

森ノ宮医療大学

学 則（案）

第一章	目的
第二章	自己点検評価及び第三者評価
第三章	学部・学科等及び附属施設
第四章	学年、学期及び休業日
第五章	修業年限及び在学年限
第六章	入学
第七章	教育課程、履修方法等
第八章	休学、復学、転学、退学及び除籍
第九章	卒業及び学位
第十章	科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴 講生及び外国人留学生
第十一章	職員組織
第十二章	教授会、各種委員等
第十三章	入学検定料、入学料、授業料等
第十四章	賞罰
第十五章	大学開放及び生涯学習事業
第十六章	雑則

第一章 目的

(目的)

第1条 豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。

第二章 自己点検評価及び第三者評価

(自己点検評価及び第三者評価)

- 第2条 本学は、教育水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育・研究・組織・運営・施設及び設備の状況について、自己点検評価を行う。
- 2 自己点検評価に関する必要な事項は別に定める。
 - 3 本学は前項の措置に加え、その教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。
 - 4 自己点検評価および第三者評価の結果を公表するものとする。

(情報の積極的な公開)

第3条 本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができする方法によって積極的にその情報を公開するものとする。

第三章 学部・学科等及び附属施設

(学部、学科、入学定員及び収容定員)

- 第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科及び診療放射線学科を置く。
- 2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
保健医療学部	鍼灸学科	60	240
	理学療法学科	70	280
	看護学科	90	360
	臨床検査学科	70	280

	作業療法学科	40	160
	臨床工学科	60	240
	診療放射線学科	80	320
合計		470	1880

3 保健医療学部鍼灸学科に鍼灸コース及びスポーツ特修コースを置く。

4 鍼灸コースは、入学定員40名、収容定員160名とし、スポーツ特修コースは、入学定員20名、収容定員80名とする。

(学部及び学科の目的)

第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。

2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。

4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。

6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

7 作業療法学科は、チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

9 診療放射線学科は、人間性豊かで高いモラルを有する医療人として、チーム医療における役割と職責を自覚し、放射線診療を実践できる確かな専門知識と技術を身につけた人材の育成を目的とする。

(大学院)

第4条の3 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規則は別に定める。

(専攻科)

第4条の4 本学に次の専攻科を置く。

(1) 助産学専攻科

2 専攻科に関する規則は別に定める。

(附属施設)

第5条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 附属臨床実習施設

2 前項の附属施設に関し必要な事項は別に定める。

第四章 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 学年を次の2学期にわけるとする。

- (1) 前期4月1日から9月30日まで
- (2) 後期10月1日から3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 春期休業日3月21日から3月31日まで
- (4) 夏期休業日8月11日から9月30日まで
- (5) 冬期休業日12月25日から1月7日まで

2 学長は前項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第五章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第9条 本学の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第10条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第16条、第17条、第18条の規定により入学した学生は、第19条の規定により定められた在学すべき年数の2倍に相当する期間を

超えて在学することができない。

第六章 入学

(入学の時期)

第11条 入学の時期は学年の始めとする。

2 ただし、第16条、第17条、第18条の規定により入学する場合及び特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認められる場合は、学期の始めとする。

(入学資格)

第12条 本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに該当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 前各号に定める者の他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

(入学の出願)

第13条 本学に入学を志願する者は、本学指定の期日までに、入学願書に入学検定料を添えて学長に提出しなければならない。

(入学者の選考)

第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第15条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学料及び学納金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第16条 学長は、編入学を志望するものがあるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に編入学を許可することができる。

2 本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

- (1) 大学及び短期大学の課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第八十二条第十項に定める専修学校を卒業した者か、卒業見込みの者

(転入学)

第17条 学長は、他の大学に在籍しているもので、本学への転入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(再入学)

第18条 学長は、再入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(編入学等の場合の取扱い)

第19条 第16条、第17条、第18条の規定により入学を許可された者が既に修得した授業科目及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴き、学長が決定する。

第七章 教育課程、履修方法等

(教育課程)

第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第1のとおりとする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第2のとおりとする。
- 4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のとおりとする。
- 5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。
- 6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のとおりとする。
- 7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のとおりとする。
- 8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。
- 9 診療放射線学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第8のとおりとする。

第21条 授業は、講義、演習、実習のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

第22条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(単位の計算方法)

第23条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実習については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(1年間の授業期間)

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週とすることを原則とする。

(単位の授与)

第25条 授業科目を履修し、その試験に合格した者に、担当の教員は所定の単位を与える。

2 前項の試験は、当該授業科目を履修した者でなければ、受けることができない。

(成績の評価)

第26条 成績の評価は、優、良、可及び不可の4段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。

(試験の種類)

第27条 各授業科目の試験は、定期試験、追試験、再試験及び臨時試験等とする。

(入学前及び在学時における他大学等での既修得単位等の認定)

第28条 学長は教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学等で履修した授業科目について修得した単位(大学等で科目等履修生として修得した単位を含む)を、該当する授業科目を本学において履修及び修得したものと見なし、単位を与えることができる。

2 学長は教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学等と協議の上、学生が授業科目を履修することを認め、その履修した授業科目について修得した単位は本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、第16条の編入学、第17条の転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、60単位を超えないものとする。

(教職に関する免許)

第28条の2 本学の学部学科において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科免許は、次のとお

りとする。

学部	学科等	免許状の種類	教科の種類
保健医療学部	鍼灸学科スポーツ特修コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育 保健体育
保健医療学部	看護学科	養護教諭一種免許状	養護

- 2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第9の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。
- 3 前項の所定の単位の修得に関し必要な事項は別に定める。

第八章 休学、復学、転学、退学及び除籍

(休学)

- 第29条 疾病その他やむを得ない事情により3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。
- 2 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合において、学長の許可を得たときは、この限りでない。
 - 3 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。
 - 4 休学の期間は第10条に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第30条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第31条 本学への在学期間中、他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(退学)

第32条 退学しようとするものは、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第33条 次の各号に該当する者は、学長が除籍することができる。

- (1) 第10条の規定により定められた在学年限を超えた者

- (2) 第29条の規定により定められた休学期間を超えて、なお復学することができない者
 - (3) 授業料を納入しない者
 - (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者
- 2 前項(3)により除籍となった者が、所定の期日内に学費を納付した場合、復籍を認めることがある。

第九章 卒業及び学位

(卒業)

第34条 本学に4年(第16条、第17条、第18条の規定により入学したものについては、第19条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、所定の授業科目を履修し、単位を修得した者については、教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定する。

2 学長は、前項の卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学位の授与)

第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の学位を授与する。

学部	学科	学位
保健医療学部	鍼灸学科	学士(鍼灸学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	看護学科	学士(看護学)
	臨床検査学科	学士(臨床検査学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	臨床工学科	学士(臨床工学)
	診療放射線学科	学士(診療放射線学)

第十章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第36条 本学において、一又は複数の授業科目の履修を希望する者がいるときは、学長は選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

(研究生)

第37条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、学長は選考の上、入学を許可することができる。

- 2 研究生となることを志願することができる者は大学を卒業した者又はこれと同等以上の能力があると学長が認めた者とする。

(聴講生)

第38条 本学において、特定の授業科目について聴講を志願するものがあるときは、学長は選考の上、入学を許可することができる。

(特別聴講生)

第38条の2 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下この条において同じ）の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、特別聴講生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第39条 外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、学長は選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

第十一章 職員組織

(職員)

第40条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の必要な職員を置く。

- 2 学長が必要と認めた場合には副学長を置くことができる。

(各組織の長)

第41条 本学に、学長のほか、事務局長、研究科長、学部長、専攻科長、学科長、附属臨床実習施設長、及び附属図書館長等を置く。

(学長等の職務)

第42条 学長は本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

- 2 事務局長は、本学の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

- 3 研究科長は、本学の教授をもって充て、大学院の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

- 4 専攻科長は、本学の教授をもって充て、専攻科の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

- 5 学部長は、本学の教授をもって充て、保健医療学部の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

- 6 学科長は、各学科の教授をもって充て、学部長の命を受け、各学科の運営に関する連絡調整を行う。
- 7 附属臨床実習施設長は、本学の教授をもって充て、附属臨床実習の活動に関する事項を掌理する。
- 8 附属図書館長は、本学の教職員をもって充て、附属図書館に関する事項を掌理する。

第十二章 教授会、各種委員等

(教授会)

- 第43条 本学の学生の入学、卒業及び課程の修了、学位授与その他教育研究に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。
- 2 教授会は、学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - 3 教授会は理事長、学長、副学長、教授、准教授、講師及び事務局長をもって組織する。

(専門委員会)

- 第44条 本学に、専門事項を審議する専門委員会を置く。
- 2 専門委員会は学長の付託を受け専門事項を審議する。
 - 3 専門委員会に関し、必要な事項は別に定める。

第十三章 入学検定料、入学料、授業料等

(授業料等の金額)

- 第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第10のとおりとする。

(授業料等の納付)

- 第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。
- 2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。
 - 3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の授業料の5分の1とする。
 - 4 既に納付した入学検定料、授業料は、返還しない。

第十四章 賞罰

(表彰)

第47条 学長は、表彰に値する行為があった学生を表彰することができる。

(懲戒)

第48条 学長は、本学の学則その他学生に関する諸規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対して、懲戒することができる。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第十五章 大学開放及び生涯学習事業

(大学開放)

第49条 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

(生涯学習事業)

第50条 本学は、地域社会の発展に寄与するため、生涯学習事業をととして本学の教育研究資源の地域社会への還元積極的に努めるものとする。

第十六章 雑則

(雑則)

第51条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は学長が別に定める。

附 則

- 1 この学則は平成19年4月1日から施行する。ただし、第12条、第13条、第14条、第15条、第45条、第46条の規定は、文部科学大臣が本学の設置を認可した日より施行する。
- 2 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成19年度	120人				120人
平成20年度	120人	120人			240人
平成21年度	120人	120人	120人		360人
平成22年度	120人	120人	120人	120人	480人

- 3 この学則は平成23年4月1日から施行する。
- 4 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成23年度	200人	120人	120人	120人	560人
平成24年度	200人	200人	120人	120人	640人
平成25年度	200人	200人	200人	120人	720人
平成26年度	200人	200人	200人	200人	800人

- 5 平成23年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 6 この学則は平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 7 この学則は平成25年4月1日から施行する。
- 8 この学則は平成27年4月1日から施行する。
- 9 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成28年度	300人	200人	200人	200人	900人
平成29年度	300人	300人	200人	200人	1000人
平成30年度	300人	300人	300人	200人	1100人
平成31年度	300人	300人	300人	300人	1200人

- 10 この学則は平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 11 この学則は平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 12 この学則は平成30年4月1日から施行する。
- 13 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替

えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成30年度	380人	300人	300人	200人	1180人
平成31年度	380人	380人	300人	300人	1360人
平成32年度	380人	380人	380人	300人	1440人
平成33年度	380人	380人	380人	380人	1520人

14 この学則は平成31年4月1日から施行する。

15 この学則は令和2年4月1日から施行する。

16 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
令和2年度	470人	380人	380人	300人	1530人
令和3年度	470人	470人	380人	380人	1700人
令和4年度	470人	470人	470人	380人	1790人
令和5年度	470人	470人	470人	470人	1880人

別表第1

鍼灸学科 鍼灸コース 教育課程

区分	授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		化学	2	
		情報処理	2	
		統計学	2	
		心理学	2	
	人間理解と社会	生命倫理学	2	
		哲学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
		東洋史概説	2	
		西洋史概説	2	
	語学	英語Ⅰ（初級）	2	
		英語Ⅱ（中級）	2	
		英会話	2	
		医学英語	2	
		基礎英語演習	2	
応用英語演習		2		
学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2	
		健康管理学Ⅰ	2	
		健康管理学Ⅱ	2	
		チーム医療とコミュニケーション	2	
		栄養学	2	
		身体運動科学	2	
		東洋医療概論	2	
		統合医療概論	2	
		IPW論	1	
		学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能
解剖学Ⅱ（神経）	2			
解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	2			
生理学Ⅰ（動物生理学）	2			
生理学Ⅱ（植物生理学）	2			
生理学Ⅲ（応用生理学）	2			
運動学	2			
生化学	2			
疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進	病理学			2
	臨床医学総論			2
	整形外科学		2	
	内科学		2	
	臨床医学各論Ⅰ		2	
	臨床医学各論Ⅱ		2	
	臨床医学各論Ⅲ		2	
	スポーツ医学		2	
	リハビリテーション医学		2	
画像診断学	2			
保健医療福祉と社会の理念	衛生学公衆衛生学		2	
	保健医療倫理		1	
専門科目	基礎はりきゅう学		経絡経穴学Ⅰ	1
			経絡経穴学Ⅱ	1
			経穴局所解剖演習Ⅰ	1
			経穴局所解剖演習Ⅱ	1
			鍼灸科学概論Ⅰ	1
			鍼灸科学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅰ	1
東洋医学概論Ⅱ	1			
東洋医学概論Ⅲ	1			

区分	授業科目	単位数		
学科専門科目群	臨床はりきゅう学	鍼灸安全学	1	
		臨床生理学	1	
		臨床鍼灸学	1	
		生体観察	1	
		運動機能検査法	1	
		現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2	
		現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）	2	
		現代医学系鍼灸学Ⅲ（内科系）	1	
		東洋医学系検査法	1	
		東洋医学各論Ⅰ	1	
		東洋医学各論Ⅱ	1	
		社会はりきゅう学	鍼灸経営論	1
			関係法規	1
		実習	基礎鍼灸実技Ⅰ	1
	基礎鍼灸実技Ⅱ		1	
	基礎灸実技Ⅰ		1	
	基礎灸実技Ⅱ		1	
	応用鍼灸実技Ⅰ		1	
	応用鍼灸実技Ⅱ		1	
	現代医学系鍼灸学実習Ⅰ		1	
	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ		1	
	現代医学系鍼灸学実習Ⅲ		1	
	東洋医学系鍼灸実習Ⅰ		1	
	東洋医学系鍼灸実習Ⅱ		1	
	東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ		1	
	応用鍼灸治療学		1	
	臨床灸実習		1	
	特殊鍼灸治療学	1		
	実習臨床	附属施術所基礎実習	2	
		附属施術所応用実習	2	
	総合領域	キャリアデザイン	1	
		鍼灸総合演習Ⅰ	2	
		鍼灸総合演習Ⅱ	2	
		鍼灸総合演習Ⅲ	2	
		卒業研究Ⅰ	1	
		卒業研究Ⅱ	1	
	専門領域	学外見学実習Ⅰ	1	
		学外見学実習Ⅱ	1	
		美容鍼灸学総論	1	
		テーピング技術論	1	
		コンディショニング技術論	1	
		スポーツ鍼灸学総論	1	
		スポーツ鍼灸学各論	1	
		介護学概論	1	
		老年ケア演習	1	
		美容鍼灸学各論Ⅰ	1	
		美容鍼灸学各論Ⅱ	1	
応用鍼灸学Ⅰ		1		
応用鍼灸学Ⅱ		1		
スポーツ経営学		1		
卒業要件（最低必要単位数）		124		

別表第2

鍼灸学科 スポーツ特修コース 教育課程

区分	授業科目	単位数			
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2		
		物理学	2		
		生物学	2		
		化学	2		
		情報処理	2		
	人間理解と社会	統計学	2		
		心理学	2		
		生命倫理学	2		
		哲学	2		
		社会福祉学	2		
		日本国憲法	2		
		東洋史概説	2		
	語学	西洋史概説	2		
		英語Ⅰ（初級）	2		
		英語Ⅱ（中級）	2		
		英会話	2		
		医学英語	2		
		基礎英語演習	2		
		応用英語演習	2		
		スポーツ健康科学演習	2		
学部共通科目群	保健医療	健康科学（スポーツ社会学を含む）	2		
		健康管理学Ⅰ	2		
		健康管理学Ⅱ	2		
		チーム医療とコミュニケーション	2		
		栄養学	2		
		身体運動科学	2		
		東洋医療概論	2		
		統合医療概論	2		
		IPW論	1		
		学科専門科目群	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ（骨・筋）	4
				解剖学Ⅱ（神経）	2
				解剖学Ⅲ（内臓・尿管）	2
				生理学Ⅰ（動物生理学）	2
生理学Ⅱ（植物生理学）	2				
生理学Ⅲ（応用生理学）	2				
運動学	2				
生化学	2				
疾病の成り立ち、及び回復の促進	病理学			2	
	臨床医学総論			2	
	整形外科学		2		
	内科学		2		
	臨床医学各論Ⅰ		2		
	臨床医学各論Ⅱ		2		
	臨床医学各論Ⅲ		2		
	スポーツ医学		2		
	リハビリテーション医学		2		
	画像診断学		2		
きょうふの理念	衛生学公衆衛生学		2		
	保健医療福祉		1		
	保健医療倫理		1		
基礎はりきょうふ学	経絡経穴学Ⅰ		1		
	経絡経穴学Ⅱ		1		
	経穴局所解剖演習Ⅰ		1		
	経穴局所解剖演習Ⅱ		1		
	鍼灸科学概論Ⅰ		1		
	鍼灸科学概論Ⅱ		1		
	東洋医学概論Ⅰ	1			
臨床はりきょうふ学	東洋医学概論Ⅱ	1			
	東洋医学概論Ⅲ	1			
	鍼灸安全学	1			
	臨床生理学	1			
	臨床鍼灸学	1			
	生体観察	1			
	運動機能検査法	1			
	現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2			
	現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）	2			
	現代医学系鍼灸学Ⅲ（内科系）	1			
り社会は	東洋医学系検査法	1			
	東洋医学各論Ⅰ	1			
	東洋医学各論Ⅱ	1			
うきゅう	鍼灸経営論	1			
	関係法規	1			

区分	授業科目	単位数		
学科専門科目群	実習	基礎鍼灸実技Ⅰ	1	
		基礎鍼灸実技Ⅱ	1	
		基礎灸実技Ⅰ	1	
		基礎灸実技Ⅱ	1	
		応用鍼灸実技Ⅰ	1	
		応用鍼灸実技Ⅱ	1	
		現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	1	
		現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	1	
		現代医学系鍼灸学実習Ⅲ	1	
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅰ	1	
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅱ	1	
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ	1	
		応用鍼灸治療学	1	
		臨床灸実習	1	
		特殊鍼灸治療学	1	
	実臨床	附属施設所基礎実習	2	
		附属施設所応用実習	2	
	総合領域	キャリアデザイン	1	
		鍼灸総合演習Ⅰ	2	
		鍼灸総合演習Ⅱ	2	
		鍼灸総合演習Ⅲ	2	
		運動生理学	2	
		運動生理機能学演習	2	
		卒業研究Ⅰ	1	
		卒業研究Ⅱ	1	
		学外見学実習Ⅰ	1	
		学外見学実習Ⅱ	1	
		保健体育	スポーツ実習Ⅰ 体づくり運動	1
			スポーツ実習Ⅱ 球技A	1
			スポーツ実習Ⅱ 球技B	1
			スポーツ実習Ⅱ 球技C	1
			スポーツ実習Ⅲ 陸上競技	1
	スポーツ実習Ⅳ 柔道		1	
	スポーツ実習Ⅴ ダンス		1	
	スポーツ実習Ⅵ 器械運動		1	
	スポーツ実習Ⅶ 水泳		1	
	スポーツ実習Ⅷ 生涯スポーツ		1	
	学校保健（小児保健・精神保健）		2	
	学校保健（学校安全・救急処置）		2	
	トレーニング科学演習Ⅰ（レジスタンスエクササイズ1）		1	
	トレーニング科学演習Ⅱ（エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング）		1	
	トレーニング科学演習Ⅲ（レジスタンスエクササイズ2・水中運動）		1	
トレーニング科学演習Ⅳ（指導実習）	1			
体力トレーニング論	2			
テーピング技術論	1			
スポーツバイオメカニクス	2			
介護学概論	1			
老年ケア演習	1			
体育原理	2			
スポーツ心理学	2			
スポーツ鍼灸学総論	1			
スポーツ鍼灸学各論	1			
スポーツ傷害学・栄養学	2			
スポーツ経営学	1			
卒業要件（最低必要単位数）		142		

別表第3

理学療法学科 教育課程

区分	授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		化学	2	
		情報処理	2	
		統計学	2	
	人間理解と社会	心理学	2	
		生命倫理学	2	
		哲学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
		東洋史概説	2	
	語学	英語Ⅰ（初級）	2	
		英語Ⅱ（中級）	2	
		英会話	2	
		医学英語	2	
		基礎英語演習	2	
		応用英語演習	2	
学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2	
		健康管理学Ⅰ	2	
		健康管理学Ⅱ	2	
		チーム医療とコミュニケーション	2	
		栄養学	2	
		身体運動科学	2	
		東洋医療概論	2	
		統合医療概論	2	
		IPW論	1	
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造演習Ⅰ（運動器）	1	
		人体の構造演習Ⅱ（運動器）	1	
		人体の構造Ⅰ（神経系）	2	
		人体の構造Ⅱ（循環・内臓）	2	
		人体の構造実習	1	
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	2	
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	2	
		基礎運動学	1	
		臨床運動学	1	
		運動学実習	1	
		臨床心理学	1	
		専門基礎科目	リハビリテーション概論	1
			公衆衛生学	2
			生化学	2
	病理学		2	
	臨床病態学Ⅰ		2	
	臨床病態学Ⅱ		2	
	臨床病態学Ⅲ		2	
	整形外科		2	
	小児科学（人間発達学）		2	
	精神医学		2	
	リハビリテーション医学		2	
	作業療法・芸術療法論		2	
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学		2	
	介護学概論・ボランティア活動論		1	
	スポーツ医学	2		
	テーピング技術論	1		

区分	授業科目	単位数	
学科専門科目群	基礎理学療法	医療関係法規論	2
		理学療法触診法	1
		基礎理学療法Ⅰ	1
		基礎理学療法Ⅱ	1
		基礎理学療法演習	1
		理学療法評価学総論	1
	理学療法評価学	理学療法評価学各論	2
		臨床理学療法評価学（動作分析）	1
		臨床理学療法評価学演習	1
	理学療法治療学	基礎日常生活活動学	1
		基礎運動療法学総論	1
		基礎運動療法学各論	1
		物理療法学	1
		運動器系理学療法Ⅰ	1
		運動器系理学療法Ⅱ	2
		運動器系理学療法Ⅲ	1
		神経系理学療法Ⅰ	1
		神経系理学療法Ⅱ	2
		神経系理学療法Ⅲ	1
		内部障害系理学療法Ⅰ	1
		内部障害系理学療法Ⅱ	2
		内部障害系理学療法Ⅲ	1
		発達障害理学療法学	1
	義肢装具学	2	
	臨床理学療法治療学演習	1	
	地域理学療法学	地域理学療法学	2
		生活環境論	1
		老年期理学療法学	1
	総合領域	理学療法特論Ⅰ	1
		理学療法特論Ⅱ	1
		理学療法特論Ⅲ	2
		運動器系理学療法セミナー	1
		神経系理学療法セミナー	1
		内部障害系理学療法セミナー	1
	研究	卒業研究Ⅰ	2
		卒業研究Ⅱ	2
臨床実習	臨床見学実習	1	
	検査測定実習	1	
	臨床評価実習	4	
臨床実習	臨床総合実習Ⅰ	7	
	臨床総合実習Ⅱ	7	
卒業要件（最低必要単位数）		125	

別表第4
看護学科教育課程

区分		授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2		
		物理学	2		
		生物学	2		
		化学	2		
		情報処理	2		
		統計学	2		
	人間理解と社会	心理学	2		
		生命倫理学	2		
		哲学	2		
		社会福祉学	2		
		日本国憲法	2		
		東洋史概説	2		
	語学	西洋史概説	2		
		英語 I (初級)	2		
		英語 II (中級)	2		
		英会話	2		
		医学英語	2		
		基礎英語演習	2		
	学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2	
			スポーツ健康科学演習	2	
健康科学 (スポーツ社会学を含む)			2		
健康管理学 I			2		
健康管理学 II			2		
チーム医療とコミュニケーション			2		
栄養学			2		
身体運動科学			2		
東洋医療概論			2		
統合医療概論			2		
IPW論			1		
学科専門科目群			専門基礎分野	人体の構造と機能	1
				形態機能学 I	1
				形態機能学 II	1
	形態機能学 III	1			
	形態機能学 IV	1			
	フィジカルアセスメント	2			
	生化学	2			
	発達心理学	2			
	微生物学	1			
	病理学	1			
	臨床薬理学	1			
	臨床病態学 I	1			
	臨床病態学 II	1			
	臨床病態学 III	1			
	臨床病態学 IV	1			
	臨床病態学 V	1			
	臨床心理学	2			
	健康支援と社会保障制度	医療概論	1		
		公衆衛生学	2		
		看護関係法規	2		
		保健統計学	2		
		疫学	2		

区分		授業科目	単位数		
学科専門科目群	専門分野 I	基礎看護学	看護学概論	1	
			看護理論	2	
			生活援助論 I	2	
			生活援助論 II	2	
			診療援助論 I	2	
			診療援助論 II	2	
			看護過程演習	1	
		実習地	基礎看護学実習 I	1	
			基礎看護学実習 II	2	
		専門分野 II	成人看護学	成人看護学概論	2
				成人看護援助論 I	1
				成人看護援助論 II	1
				成人看護援助論 III	1
			成人看護援助論 IV	1	
	老年看護学		老年看護学概論	2	
			老年看護援助論 I	1	
			老年看護援助論 II	1	
	母性看護学		母性看護学概論	2	
			母性看護援助論 I	1	
	母性看護援助論 II		1		
	小児看護学		小児看護学概論	2	
			小児看護援助論 I	1	
			小児看護援助論 II	1	
	精神看護学	精神看護学概論	2		
		精神看護援助論 I	1		
		精神看護援助論 II	1		
	臨地実習	成人看護学実習 I (急性)	3		
		成人看護学実習 II (慢性)	3		
		老年看護学実習 I	3		
		老年看護学実習 II	1		
		母性看護学実習	2		
		小児看護学実習	2		
	在宅看護論	精神看護学実習	2		
		在宅看護概論	2		
		在宅看護援助論 I	1		
		在宅看護援助論 II	1		
		外来看護論	1		
		健康教育論	2		
	統合分野	看護の統合と実践 I	家族看護学	1	
			看護管理論	1	
			災害・国際看護論	1	
			養護概説	2	
学校保健			2		
健康相談活動論			2		
公衆衛生看護学			公衆衛生看護学概論	2	
			公衆衛生看護学演習	2	
			公衆衛生看護活動論 I	2	
			公衆衛生看護活動論 II	2	
	公衆衛生看護活動論 III	2			
	公衆衛生看護活動論 IV	2			
臨地実習	公衆衛生看護管理論	2			
	保健医療福祉行政論	2			
	在宅看護論実習	2			
	公衆衛生看護学実習	4			
研究卒業	主題実習 I	2			
	主題実習 II	1			
	看護研究	1			
	卒業研究	2			
	看護の実践 II	臨床看護学セミナー I	2		
		臨床看護学セミナー II	2		
公衆衛生看護セミナー		1			
臨床看護技術セミナー		1			
卒業要件 (最低必要単位数)			124		

別表第5

臨床検査学科 教育課程

区分		授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2		
		物理学	2		
		生物学	2		
		化学	2		
		情報処理	2		
		統計学	2		
	人間理解と社会	心理学	2		
		生命倫理学	2		
		哲学	2		
		社会福祉学	2		
		日本国憲法	2		
		東洋史概説	2		
	語学	西洋史概説	2		
		英語Ⅰ(初級)	2		
		英語Ⅱ(中級)	2		
		英会話	2		
		医学英語	2		
		基礎英語演習	2		
	学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2	
			MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1	
			チーム医療見学実習	1	
医療コミュニケーション			1		
チーム医療論			1		
IPW論			1		
基礎体育			1		
健康科学(スポーツ社会学を含む)			2		
健康管理学Ⅰ			2		
健康管理学Ⅱ			2		
栄養学			2		
身体運動科学			2		
東洋医療概論			2		
統合医療概論			2		
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造Ⅰ	2		
		人体の構造Ⅱ	2		
		人体の構造実習	1		
		人体の機能Ⅰ	2		
		人体の機能Ⅱ	2		
		生化学特論	2		
		生化学実習	1		
		分析化学	2		
		小児医学	2		
		老年医学	2		
		救急災害医学	2		
		薬理学	2		
	リハビリテーション概論	2			
	疾病と医療の関連	基礎と臨床検査の関連	臨床検査学総論	2	
			検査技術科学序論	2	
			病理学	2	
		保健医療福祉医学	医学概論	2	
			公衆衛生学	2	
			医療工	医用工学概論	2
				医用工学実習	1

区分		授業科目	単位数		
学科専門科目群	学	臨床病態学Ⅰ	2		
		臨床病態学Ⅱ	2		
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2		
		血液検査学Ⅱ	2		
		血液検査学実習	1		
		病理検査学	2		
		病理検査学実習	1		
		一般検査学	1		
	生物学	生物化学分析検査	臨床化学検査学Ⅰ	2	
			臨床化学検査学Ⅱ(放射性同位元素学含む)	2	
			臨床化学検査学実習	1	
			遺伝子検査学	2	
			遺伝子検査学実習	1	
			生命工学概論	1	
	病因・生体防御検査学	微生物検査学	微生物検査学Ⅰ	2	
			微生物検査学Ⅱ	2	
			微生物検査学実習	1	
			寄生虫検査学	1	
			免疫検査学Ⅰ	2	
			免疫検査学Ⅱ	2	
			免疫検査学実習	1	
			輸血・移植検査学	2	
			輸血・移植検査学実習	1	
			生理機能検査学	生理機能検査学	生理機能検査学Ⅰ
	生理機能検査学Ⅱ	2			
	生理機能検査学実習Ⅰ	1			
	生理機能検査学実習Ⅱ	1			
	画像検査学	2			
	超音波検査学Ⅰ	1			
	超音波検査学Ⅱ	1			
	検査総論	検査総合管理	検査総合管理	2	
			医療情報科学	2	
	全医学管理	医療安全管理	関係法規	1	
			医療安全管理学	1	
	総合領域	臨床薬理学	臨床薬理学	2	
			食品衛生学	1	
			食品関係法規	1	
			総合演習Ⅰ	2	
			総合演習Ⅱ	2	
	研究	卒業研究	総合演習Ⅲ	2	
			卒業研究Ⅰ	2	
			卒業研究Ⅱ	2	
	実習地	細胞診断学	臨床地実習	7	
			臨床細胞学概論	1	
			臨床細胞学実習Ⅰ	1	
			臨床細胞学実習Ⅱ	1	
			臨床細胞学総論Ⅰ	1	
臨床細胞学総論Ⅱ			1		
臨床細胞学各論Ⅰ			1		
臨床細胞学各論Ⅱ			1		
臨床細胞学各論Ⅲ			1		
細胞診断学実習Ⅰ			3		
細胞診断学実習Ⅱ			3		
細胞診断学実習Ⅲ			3		
細胞診断学特別実習Ⅰ			3		
細胞診断学特別実習Ⅱ			3		
卒業要件(最低必要単位数)			124		

別表第6

作業療法学科教育課程

区分		授業科目	単位数	区分		授業科目	単位数	
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	学科専門科目群	基礎作業療法学	基礎作業学	2	
		物理学	2			作業科学入門	2	
		生物学	2			作業療法概論	2	
		人間理解と社会	情報処理		2	作業療法評価学	作業療法評価学総論	2
	心理学		2		身体障害作業療法評価学		2	
	生命倫理学		2		精神障害作業療法評価学		1	
	哲学・宗教学		2		発達障害作業療法評価学		1	
	社会福祉学		2		高次脳機能障害作業療法評価学		1	
	語学	日本国憲法	2		作業療法治療学	日常生活活動学	2	
		統計学	2			身体障害作業療法治療学総論	2	
		英語Ⅰ（初級）	2			精神障害作業療法治療学総論	2	
		英語Ⅱ（中級）	2			老年期障害作業療法治療学総論	2	
		医学英語Ⅰ	2			発達障害作業療法治療学総論	2	
		医学英語Ⅱ	2			身体障害作業療法治療学各論	2	
	英会話Ⅰ	2	精神障害作業療法治療学各論			2		
	英会話Ⅱ	2	発達障害作業療法治療学各論			1		
	学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習			2	老年期障害療法作業治療学各論	1
健康科学（スポーツ社会学を含む）			2	義肢装具学		1		
東洋思想史			2	作業療法特論Ⅰ		1		
生化学			2	作業療法特論Ⅱ		1		
健康管理学Ⅰ			2	身体障害作業療法治療学演習		1		
健康管理学Ⅱ			2	精神障害作業療法治療学演習	1			
チーム医療とコミュニケーション			2	老年期障害作業療法治療学演習	1			
栄養学			2	発達障害作業療法治療学演習	1			
身体運動科学			2	地域作業療法学	地域作業療法学	2		
漢方医学概論			2		生活環境論	1		
統合医療概論			2		障害者地域生活支援論	1		
学科専門科目群			身の構造と機能及び心身の発達	人体の構造演習（運動器）	2	研究卒業	卒業研究Ⅰ	2
				人体の構造Ⅰ（循環・内臓）	2		卒業研究Ⅱ（身体障害）	2
	人体の構造Ⅱ（神経系）	2		卒業研究Ⅱ（精神障害）	2			
	人体の構造実習	1		卒業研究Ⅱ（老年期障害・地域）	2			
	人体の機能Ⅰ（動物性機能）	2		卒業研究Ⅱ（発達障害）	2			
	人体の機能Ⅱ（植物性機能）	2		臨床実習	臨地見学実習		1	
	基礎運動学	2			臨床検査実習	2		
	臨床運動学	1			臨床評価実習	4		
	リハビリテーション概論	1			臨床総合実習	16		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	専門基礎科目		公衆衛生学	2	卒業要件（最低必要単位数）		
			病理学	2				
			内科学Ⅰ	2				
			内科学Ⅱ	2				
			救急処置法	2				
			脳神経外科学	2				
			整形外科学	2				
			小児科学（人間発達学）	2				
			精神医学	2				
			精神医学各論	2				
			臨床心理学	2				
			老年医学	1				
			リハビリテーション医学	1				
			医療関係法規論	2				
			理学療法概論	1				
			芸術療法論	1				
			言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	2				
			介護学概論・ボランティア活動論	2				
			スポーツ医学	2				
			漢方医学各論	2				
			東洋医学概論Ⅰ	1				
			東洋医学概論Ⅱ	1				
			IPW論	1				

別表第7

臨床工学科 教育課程

区分	授業科目	単位数	
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2
		物理学	2
		生物学	2
		化学	2
		情報処理	2
		統計学	2
	人間理解と社会	心理学	2
		生命倫理学	2
		哲学	2
		社会福祉学	2
		日本国憲法	2
		東洋史概説	2
	語学	西洋史概説	2
		英語Ⅰ（初級）	2
		英語Ⅱ（中級）	2
		英会話	2
		医学英語	2
		基礎英語演習	2
学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2
		スポーツ健康科学演習	2
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
		健康管理学Ⅰ	2
		健康管理学Ⅱ	2
		チーム医療とコミュニケーション	2
		栄養学	2
		身体運動科学	2
		東洋医療概論	2
		統合医療概論	2
		IPW論	1
		学科専門科目群	人体の構造及び機能
公衆衛生学	2		
人体の構造Ⅰ	2		
人体の構造Ⅱ	1		
人体の機能Ⅰ	2		
人体の機能Ⅱ	1		
臨床工学に必要な医学的基礎	生化学		2
	病理学		2
	免疫学		2
	薬理学		2
	看護学概論		1
	基礎医学実習		1
臨床工学に必要な理工学的基礎	医用工学		2
	数学演習		1
	応用数学		2
	応用物理学		1
	応用化学		1
	電気工学Ⅰ		2
	電気工学Ⅱ		2
	電気工学実習		1
	電子工学Ⅰ		2
	電子工学Ⅱ		2
	電子工学実習		1
	放射線工学概論		1
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	情報処理工学		2
	医療統計学		2
	システム制御工学		2
	情報処理・システム制御工学実習		1

区分	授業科目	単位数		
学科専門科目群	医用生体工学	生体物性工学	2	
		生体材料工学	2	
		バイオメカニクス	2	
		バイオレオロジー	1	
		計測工学	1	
		生体情報処理工学	2	
		医用機器学	医用機器学概論	2
	生体計測装置学		2	
	生体計測装置学実習		1	
	医用治療機器学		2	
	医用治療機器学実習		1	
	画像診断装置学		2	
	医用監視システム装置学		2	
	生体機能代行装置学	体外循環装置学	1	
		体外循環療法学	2	
		体外循環実習	1	
		血液浄化装置学	1	
		血液浄化療法学	2	
		血液浄化実習	1	
		人工呼吸装置学	1	
		人工呼吸療法学	2	
		人工呼吸実習	1	
		人体機能補助装置学	1	
		人体機能補助療法学	2	
	人体機能補助実習	1		
	医用安全管理学	医用機器安全管理学	2	
		医用機器安全管理学実習	1	
	関連臨床医学	関係法規	2	
		臨床医学総論（内科学・外科学）	2	
		内科学各論（循環器・呼吸器・腎・感染症）	2	
	実習床	外科学各論（循環器・呼吸器・泌尿器・麻酔・集中治療学）	2	
		臨床医学演習	1	
		臨床実習	4	
	専門特講	技術臨床特講	医用生体工学特講	1
			医用機器学特講	1
			生体機能代行技術特講	1
		関連臨床医学特講	基礎工学特講	1
			先進科学技術論	1
			先進計測技術学	1
			先進治療技術学	1
			機能評価分析学	1
			機能評価学演習	1
医療情報システム学			1	
医療情報システム学演習	1			
研究分野	医用ロボット工学	1		
	遺伝子検査学	1		
	先進科学技術演習	1		
研卒業	卒業研究Ⅰ	2		
	卒業研究Ⅱ	2		
卒業要件（最低必要単位数）		124		

別表第8
診療放射線学科 教育課程

区分		授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	学科専門科目群	診療画像技術学	放射線医学概論	1	
		物理学	2			X線撮影技術学Ⅰ	2	
		生物学	2			X線撮影技術学Ⅱ	2	
		化学	2			X線機器工学	2	
		情報処理	2			放射線撮影技術学	2	
		統計学	2			CT・MRI撮影技術学	2	
	人間理解と社会	心理学	2			CT・MRI機器工学	2	
		生命倫理学	2			撮影技術学・機器工学実験Ⅰ	1	
		哲学	2			撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	1	
		社会福祉学	2			画像解剖学	1	
		日本国憲法	2			画像解剖学演習	1	
		東洋史概説	2			機器工学演習	1	
	語学	西洋史概説	2			核医学検査	核医学検査技術学Ⅰ	2
		英語Ⅰ(初級)	2				核医学検査技術学Ⅱ	2
		英語Ⅱ(中級)	2		核医学検査技術学実験		1	
		英会話	2		放射線治療	放射性薬品学	1	
		医学英語	2			放射線治療技術学Ⅰ	2	
		基礎英語演習	2		放射線治療技術学Ⅱ	2		
		応用英語演習	2		放射線治療技術学実験	1		
	学部共通科目群	保健医療	MBS(Morinomiya Basic Seminar)		1	放射線治療学	1	
			チーム医療見学実習		1	医用画像情報学	画像工学	2
医療コミュニケーション			1	医療情報学	1			
チーム医療論			1	医用画像情報学	2			
IPW論			1	医用画像情報学実験	1			
基礎体育			1	放射線安全管理学	放射線安全管理学	2		
健康科学(スポーツ社会学を含む)			2		放射線関係法規	1		
健康管理学Ⅰ			2	安全管理学実験	1			
健康管理学Ⅱ			2	医療安全管理学	医療安全管理学	2		
栄養学			2		断・画像診断・技術	臨床画像解剖学	2	
身体運動科学			2	臨床画像解析学		2		
東洋医療概論		2	臨床実習	臨床実習Ⅰ	6			
統合医療概論		2		臨床実習Ⅱ	2			
数学		2		臨床実習Ⅲ	2			
学科専門科目群		基礎科目演習	数学演習	1	臨床実習ゼミナール	2		
			物理学演習	1	専門特講	診療画像技術学特講	1	
			生物学演習	1		核医学・放射線治療学特講	1	
	化学演習		1	放射線技術学特講		1		
	医学概論		1	基礎医学特講		1		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	公衆衛生学	1	研究分野	先進核医学	先進核医学	1	
		人体の構造Ⅰ	1			先進放射線治療学	1	
		人体の構造Ⅱ	1			先進画像解析学	1	
		人体の機能Ⅰ	1	研究分野	研究分野	先進医学	1	
		人体の機能Ⅱ	1			卒業研究Ⅰ	2	
		生化学	1	卒業研究Ⅱ	2			
		病理学	1	卒業要件(最低必要単位数)		126		
		内科学Ⅰ	1					
		内科学Ⅱ	1					
		薬理学	1					
	看護学概論	1						
	基礎医学演習	1						
	外科学	1						
	救急災害医学	1						
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	電気・電子工学	2					
		医用工学	2					
		工学演習	1					
		情報処理工学	2					
		医療統計学	1					
		放射線化学	2					
		放射線生物学	2					
		放射線化学・生物学演習	1					
放射線物理学		2						
放射線計測学		2						
放射線物理学・計測学演習		1						
放射線科学		1						
専門基礎科目実験	2							

別表第9

教職に関する科目 教育課程

区分	授業科目	単位数
教職に関する科目	保健体育科教育法Ⅰ	2
	保健体育科教育法Ⅱ	2
	保健体育科教育法Ⅲ	2
	保健体育科教育法Ⅳ	2
	教職論	2
	教育原理	2
	教育行政学	2
	教育心理学	2
	特別支援教育概論	1
	教育課程論	2
	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	2
	特別活動論	2
	教育方法論	2
	生徒指導・進路指導論	2
	生徒指導論	2
	教育相談の基礎と方法	2
	教育実習事前事後指導	1
	教育実習Ⅰ	2
	教育実習Ⅱ	2
	養護実習(事前事後指導を含む)	5
	教職実践演習(中・高)	2
	教職実践演習(養護教諭)	2

別表第10

(単位：円)

学部名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料
学科名						
保健医療学部 鍼灸学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	3年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	4年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
保健医療学部 理学療法学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
保健医療学部 看護学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	3年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	4年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
保健医療学部 臨床検査学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
保健医療学部 作業療法学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
保健医療学部 臨床工学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
保健医療学部 診療放射線学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	

変更事項を記載した書類

○変更時期

令和2年4月1日

○変更事由

- ・令和2年度から保健医療学部臨床検査学科の入学定員を10名増やし、教育課程を変更することに伴い、学則の条文と附則及び別表を変更しました。
- ・教授会の条文を現状に合わせて修正しました。

○変更点

- ・第4条第2項の、保健医療学部の入学定員及び収容定員の、臨床検査学科の数字を変更
- ・第43条第3項の、教授会を組織するものの一部を削除
- ・附則16の、読み替え表の年次ごとの人数及び収容定員を、臨床検査学科の入学定員増に合わせて変更
- ・別表第5の臨床検査学科教育課程を変更

森ノ宮医療大学学則 改定 新旧対照表

(下線が変更箇所)

旧	新																																																																																																																								
<p>(学部、学科、入学定員及び収容定員)</p> <p>第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科及び診療放射線学科を置く。</p> <p>2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">保健医療 学部</td> <td>鍼灸学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">360</td> </tr> <tr> <td>臨床検査学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">160</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>診療放射線学科</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">320</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">460</td> <td style="text-align: center;">1840</td> </tr> </tbody> </table> <p>(教授会)</p> <p>第43条</p> <p>3 教授会は理事長、<u>法人本部長</u>、学長、副学長、教授、准教授、講師及び事務局長をもって組織する。</p> <p>附 則</p> <p>16 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> <th>4年次</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">300人</td> <td style="text-align: center;">1520人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">1680人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">1760人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">1840人</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	収容定員	保健医療 学部	鍼灸学科	60	240	理学療法学科	70	280	看護学科	90	360	臨床検査学科	60	240	作業療法学科	40	160	臨床工学科	60	240	診療放射線学科	80	320	合計		460	1840	年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員	令和2年度	460人	380人	380人	300人	1520人	令和3年度	460人	460人	380人	380人	1680人	令和4年度	460人	460人	460人	380人	1760人	令和5年度	460人	460人	460人	460人	1840人	<p>(学部、学科、入学定員及び収容定員)</p> <p>第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科及び診療放射線学科を置く。</p> <p>2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">保健医療 学部</td> <td>鍼灸学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">360</td> </tr> <tr> <td>臨床検査学科</td> <td style="text-align: center;"><u>70</u></td> <td style="text-align: center;"><u>280</u></td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">160</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>診療放射線学科</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">320</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>470</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1880</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(教授会)</p> <p>第43条</p> <p>3 教授会は理事長、学長、副学長、教授、准教授、講師及び事務局長をもって組織する。</p> <p>附 則</p> <p>16 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> <th>4年次</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">300人</td> <td style="text-align: center;"><u>1530</u>人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;"><u>1700</u>人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;"><u>1790</u>人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>470</u>人</td> <td style="text-align: center;"><u>1880</u>人</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	収容定員	保健医療 学部	鍼灸学科	60	240	理学療法学科	70	280	看護学科	90	360	臨床検査学科	<u>70</u>	<u>280</u>	作業療法学科	40	160	臨床工学科	60	240	診療放射線学科	80	320	合計		<u>470</u>	<u>1880</u>	年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員	令和2年度	<u>470</u> 人	380人	380人	300人	<u>1530</u> 人	令和3年度	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	380人	380人	<u>1700</u> 人	令和4年度	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	380人	<u>1790</u> 人	令和5年度	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>1880</u> 人
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																						
保健医療 学部	鍼灸学科	60	240																																																																																																																						
	理学療法学科	70	280																																																																																																																						
	看護学科	90	360																																																																																																																						
	臨床検査学科	60	240																																																																																																																						
	作業療法学科	40	160																																																																																																																						
	臨床工学科	60	240																																																																																																																						
	診療放射線学科	80	320																																																																																																																						
合計		460	1840																																																																																																																						
年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員																																																																																																																				
令和2年度	460人	380人	380人	300人	1520人																																																																																																																				
令和3年度	460人	460人	380人	380人	1680人																																																																																																																				
令和4年度	460人	460人	460人	380人	1760人																																																																																																																				
令和5年度	460人	460人	460人	460人	1840人																																																																																																																				
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																						
保健医療 学部	鍼灸学科	60	240																																																																																																																						
	理学療法学科	70	280																																																																																																																						
	看護学科	90	360																																																																																																																						
	臨床検査学科	<u>70</u>	<u>280</u>																																																																																																																						
	作業療法学科	40	160																																																																																																																						
	臨床工学科	60	240																																																																																																																						
	診療放射線学科	80	320																																																																																																																						
合計		<u>470</u>	<u>1880</u>																																																																																																																						
年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員																																																																																																																				
令和2年度	<u>470</u> 人	380人	380人	300人	<u>1530</u> 人																																																																																																																				
令和3年度	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	380人	380人	<u>1700</u> 人																																																																																																																				
令和4年度	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	380人	<u>1790</u> 人																																																																																																																				
令和5年度	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>470</u> 人	<u>1880</u> 人																																																																																																																				

旧				新					
別表第5 臨床検査学科 教育課程				別表第5 臨床検査学科 教育課程					
区分		授業科目	単位数	区分		授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2		
		物理学	2			物理学	2		
		生物学	2			生物学	2		
		情報処理	2			化学	2		
	人間理解と社会	心理学	2		情報処理	2			
		生命倫理学	2		統計学	2			
		哲学・宗教学	2		心理学	2			
		社会福祉学	2		生命倫理学	2			
	語学	日本国憲法	2		哲学	2			
		統計学	2		社会福祉学	2			
		英語Ⅰ(初級)	2		日本国憲法	2			
		英語Ⅱ(中級)	2		東洋史概説	2			
	学部共通科目群	医学英語Ⅰ	2		西洋史概説	2			
		医学英語Ⅱ	2		英語Ⅰ(初級)	2			
		英会話Ⅰ	2		英語Ⅱ(中級)	2			
英会話Ⅱ		2	英会話	2					
学部共通科目群	スポーツ健康科学演習	2	医学英語	2					
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	2	基礎英語演習	2					
	東洋思想史	2	応用英語演習	2					
	生化学	2	学部共通科目群	保健医療	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1			
	健康管理学Ⅰ	2			チーム医療見学実習	1			
	健康管理学Ⅱ	2			医療コミュニケーション	1			
	チーム医療とコミュニケーション	2			チーム医療論	1			
	栄養学	2			IPW論	1			
	身体運動科学	2			基礎体育	1			
	漢方医学概論	2			健康科学(スポーツ社会学を含む)	2			
	統合医療概論	2			健康管理学Ⅰ	2			
	学科専門科目群	専門基礎科目			人体の構造Ⅰ	2	健康管理学Ⅱ	2	
					人体の構造Ⅱ	2	栄養学	2	
					人体の構造実習	1	身体運動科学	2	
					人体の機能Ⅰ	2	東洋医療概論	2	
人体の機能Ⅱ					2	統合医療概論	2		
生化学各論					2	学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造Ⅰ	2
生化学実習					1			人体の構造Ⅱ	2
分析化学			2	人体の構造実習	1				
小児医学			2	人体の機能Ⅰ	2				
老年医学			2	人体の機能Ⅱ	2				
救急災害医学			2	生化学特論	2				
薬理学			2	生化学実習	1				
リハビリテーション概論			2	分析化学	2				
その基礎と関連			臨床検査学総論	2	小児医学			2	
			検査技術科学序論	2	老年医学			2	
	病理学	2	救急災害医学	2					
	医学概論	2	薬理学	2					
保健医療と福祉	公衆衛生学	2	リハビリテーション概論	2					
	IPW論	1	その基礎と関連	臨床検査学総論	2				
工医療	医用工学概論	2		検査技術科学序論	2				
	医用工学実習	1		病理学	2				
保健医療と福祉	医学概論	2		保健医療と福祉	医学概論	2			
	公衆衛生学	2	公衆衛生学		2				
	医用工学概論	2	医用工学概論		2				
	医用工学実習	1	医用工学実習		1				

区分		授業科目	単位数
学科専門科目群	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	2
		臨床病態学Ⅱ	2
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2
		血液検査学Ⅱ	2
		血液検査学実習	1
		病理検査学	2
		病理検査学実習	1
		一般検査学	1
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2
		臨床化学検査学Ⅱ	2
		臨床化学検査学実習	1
		放射性同位元素検査学	1
		遺伝子検査学	2
		遺伝子検査学実習	1
		バイオテクノロジー演習	1
	病因・生体防御検査学	微生物検査学Ⅰ	2
		微生物検査学Ⅱ	2
		微生物検査学実習	1
		寄生虫検査学	1
		免疫検査学Ⅰ	2
		免疫検査学Ⅱ	2
		免疫検査学実習	1
		輸血・移植検査学	2
	生理機能検査学	輸血・移植検査学実習	1
		生理機能検査学Ⅰ	2
		生理機能検査学Ⅱ	2
		生理機能検査学Ⅲ	2
		生理機能検査学実習	1
		画像検査学	2
		超音波検査学Ⅰ	1
	検査総合管理学	超音波検査学Ⅱ	1
		検査総合管理学	2
		医療情報科学	2
	学医療安全	関係法規	1
		医療安全管理学	1
	総合領域	臨床薬理学	2
		食品衛生学	1
		食品関係法規	1
		総合演習Ⅰ	2
		総合演習Ⅱ	2
研究業	総合演習Ⅲ	2	
	卒業研究Ⅰ	2	
	卒業研究Ⅱ	2	
実習地	臨地実習	7	
卒業要件（最低必要単位数）			125

区分		授業科目	単位数
学科専門科目群	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	2
		臨床病態学Ⅱ	2
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2
		血液検査学Ⅱ	2
		血液検査学実習	1
		病理検査学	2
		病理検査学実習	1
		一般検査学	1
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2
		臨床化学検査学Ⅱ(放射性同位元素学含む)	2
		臨床化学検査学実習	1
		遺伝子検査学	2
		遺伝子検査学実習	1
		生命工学概論	1
		微生物検査学Ⅰ	2
	病因・生体防御検査学	微生物検査学Ⅱ	2
		微生物検査学実習	1
		寄生虫検査学	1
		免疫検査学Ⅰ	2
		免疫検査学Ⅱ	2
		免疫検査学実習	1
		輸血・移植検査学	2
		輸血・移植検査学実習	1
	生理機能検査学	生理機能検査学Ⅰ	2
		生理機能検査学Ⅱ	2
		生理機能検査学実習Ⅰ	1
		生理機能検査学実習Ⅱ	1
		画像検査学	2
		超音波検査学Ⅰ	1
		超音波検査学Ⅱ	1
	検査総合管理学	検査総合管理学	2
		医療情報科学	2
		関係法規	1
	学医療安全	医療安全管理学	1
		総合領域	臨床薬理学
	食品衛生学		1
	食品関係法規		1
	総合演習Ⅰ		2
	総合演習Ⅱ		2
	研究業	総合演習Ⅲ	2
卒業研究Ⅰ		2	
卒業研究Ⅱ		2	
実習地	臨地実習	7	
細胞診断学	臨床細胞学概論	1	
	臨床細胞学実習Ⅰ	1	
	臨床細胞学実習Ⅱ	1	
	臨床細胞学総論Ⅰ	1	
	臨床細胞学総論Ⅱ	1	
	臨床細胞学各論Ⅰ	1	
	臨床細胞学各論Ⅱ	1	
	臨床細胞学各論Ⅲ	1	
	細胞診断学実習Ⅰ	3	
	細胞診断学実習Ⅱ	3	
	細胞診断学実習Ⅲ	3	
	細胞診断学特別実習Ⅰ	3	
細胞診断学特別実習Ⅱ	3		
卒業要件（最低必要単位数）			124

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容 … 1
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 … 1
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 … 4

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

森ノ宮医療大学は、令和2年度から保健医療学部の臨床検査学科の入学定員を10名増員することに伴い、大学の入学定員及び収容定員を以下の表のとおり変更する。

◆変更前と変更後の入学定員及び収容定員（単位：人）

変更前			変更後		
保健医療学部 学科名	入学 定員	収容 定員	保健医療学部 学科名	入学 定員	収容 定員
鍼灸学科	60	240	鍼灸学科	60	240
理学療法学科	70	280	理学療法学科	70	280
看護学科	90	360	看護学科	90	360
臨床検査学科	60	240	臨床検査学科	<u>70</u>	<u>280</u>
作業療法学科	40	160	作業療法学科	40	160
臨床工学科	60	240	臨床工学科	60	240
診療放射線学科 (平成31年3月収定増認可申請中) (平成31年4月届出済)	80	320	診療放射線学科	80	320
合計	460	1,840	合計	<u>470</u>	<u>1,880</u>

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

(1) 収容定員変更の背景

学校法人森ノ宮医療学園は、「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」という建学の精神のもと、昭和48（1973）年、大阪市東成区に鍼灸師養成のための専門学校「大阪鍼灸専門学校（現：森ノ宮医療学園専門学校）」を開設した。その後は、「生命（いのち）への愛と畏敬」を学園の精神とし、基本理念である「人によりそい幸福（しあわせ）を希う学園」を目指して発展を続けてきた。平成12年には同専門学校に柔道整復学科を新設し、これまでに約5,800名の鍼灸師、柔道整復師を輩出している。

平成 19 年 4 月には、大阪市住之江区に保健医療学部鍼灸学科と理学療法学科を備えた森ノ宮医療大学を開設して以来、本学は保健医療分野における社会貢献を目指し、社会的ニーズに即した教育と人材養成に努めてきた。大学創立から 4 年後の平成 23 年 4 月には、保健医療学部看護学科と大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）を設置した。大学創立 10 年目となる平成 28 年 4 月には、保健医療学部臨床検査学科と同学部作業療法学科を開設し、同時に、大学の目的としてチーム医療を担う人材の育成に本格的に取り組んでいくことを明示した。これは近年、疾患の治療だけでなく QOL 向上も視野に入れた「患者中心の医療」が重視されるようになり、それを実現するためのチーム医療や他職種連携に携わる人材の養成が社会的な課題となりつつあることを踏まえたものである。

さらに平成 30 年 4 月には保健医療学部に臨床工学科、大学院保健医療学研究科に医療科学専攻（博士後期課程）を開設した。そしてすでに届出中である、診療放射線学科、大学院保健医療学研究科看護学専攻（修士課程）の開設に加えて、保健医療学部臨床検査学科の入学定員を 10 名増員することで、本学が目指すチーム医療の実践を学ぶ場として、多彩な職種の視点を取り入れた環境と教育内容の充実を図り、幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション力を有する専門職医療人を輩出することで、地域社会における保健医療分野の発展に寄与することを目指す。

（2）収容定員変更の必要性

日本における臨床検査技師の需要は、少子高齢化とともに増加している。厚生労働省の「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」によると、病院で働く臨床検査技師の数は、平成 19 年と平成 29 年を比較すると 11 年間で約 8,300 人増加している。【資料 1】また、臨床検査技師は病院のみならず、医療機関や研究機関等の多岐にわたる施設で必要とされている。【資料 2】

日本では経済発展に伴って臨床検査の需要が拡大し、新たな検査法や機器・試薬が続々と開発されてきた。臨床検査技術の開発や応用が日本の医療を支え、医学の発展に寄与してきたとも言え、臨床検査は保健医療において不可欠である。また、情報化社会の進展や医療に対する国民のニーズの多様化により、臨床検査技師をはじめとする医療者に求められる知識や技術もより高度化している。臨床検査技師に求められる能力や資質も変化しており、医学・医療を基盤とした高い倫理性と豊かな人間性をもち、人間を

統合的に理解する能力、科学的な学問体系から得られた専門的知識・技術に裏付けされた実践力、チームの一員として役割を果たす責任と協働する能力、問題解決に向けた科学的思考能力、主体的学修能力等、さまざまな能力が求められるようになっている。今後さらに地域包括ケアシステムの推進や在宅医療への移行等、医療を取り巻く環境の変化が進み、こうしたニーズに対応できる臨床検査技師の育成には、4年制大学における学士課程での教育が望ましいと考えられる。

現在、近畿エリアの臨床検査技師養成大学は、平成30年度末時点で国立大学3校（大阪大学：入学定員40名、神戸大学：同40名、京都大学：同学科一括募集のため不明）、私立大学7校（本学：同60名、関西医療大学：同60名、神戸学院大学：同65名、神戸常盤大学：同80名、京都橘大学：同80名、天理医療大学：同30名、長浜バイオ大学：同30名）があり、専修学校は大阪府に3校、京都府に1校の計4校（入学定員は計280名）がある。

本学以外の私立大学6校は大阪府泉南郡（関西医療大学）、兵庫県神戸市（神戸学院大学、神戸常盤大学）、京都府京都市（京都橘大学）、滋賀県長浜市（長浜バイオ大学）、奈良県天理市（天理医療大学）に設置されており、国立大学である大阪大学は大阪府吹田市にあるため、本学が位置する大阪市には専門学校の臨床検査技師養成校が2校あるものの、大学の養成校は本学以外には1校もない。そのため、大阪市内の臨床検査技師養成大学は、臨床検査学科開設以来、本学のみである【資料3】。

また、平成30年度から平成31年度入試において、近畿エリアの臨床検査技師養成校である私立大学6校が、いずれも入学定員の1.7倍～14倍の志願者を確保している。そうした中、本学の臨床検査学科においては、平成30年度は8.2倍、平成31年度は9.3倍の志願者があり、近畿エリアにおける臨床検査技師養成校に対する学生のニーズは十分高いことがわかる。【資料4】

一方、臨床検査技師に対する平成30年度の近隣の養成校の求人数は556件～1032件、入学定員に対し9.26倍から12.9倍の求人倍率があった。また、完成年度を迎えていない本学でも平成30年度で155件、262名分の求人があり、臨床検査技師に対する需要は大きいといえる。【資料5】【資料6】

現在一般社団法人日本臨床衛生検査技師会に登録している臨床検査技師の年齢構成をみても、60歳代、50歳代が約8,700名いる。こうした高齢層の世代交代の人員の採

用に加えて病院での臨床検査技師のニーズも増加しており、臨床検査技師の需要は今後
も増える可能性が高いと考える。【資料 1】、【資料 7】

以上のように、近畿および大阪エリアで輩出される臨床検査技師の数は、需要に対し
てまだ十分とはいえず、本学の臨床検査学科収容定員変更（入学定員 10 名増）は、そ
うした社会的な必要性を踏まえたものといえる。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）教育課程の変更内容

本学の教育課程は、「教養科目群」、「学部共通科目群」、「学科専門科目群」と順次体
系的に構成されている。この構成は、医療に携わる専門職の養成に有効なプログラムを
提供するのみならず、中央教育審議会の答申を踏まえ、学士力（知識・理解、汎用的技
能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力¹⁾）を育むように編成されている。

なお、今回入学定員を 10 人増員する臨床検査学科を含む既設 6 学科および新設する
診療放射線学科（届出済）を加えた計 7 学科において、令和 2 年度から教育課程の学部
共通科目群のカリキュラムを統一する予定であり、令和元年度中に学則変更の手続きを
行う。

また、令和 2 年度より、臨床検査学科に細胞検査士養成課程を設置するため、必要な
科目を追加する等、教育課程を一部変更している。

1) 教養科目の編成と特色

教養・知識・知性は、問題や課題の性質・構造を見極め、合理的かつ適切な理解方法
を考えて実行していくための基盤になるものであると同時に、異なる立場にある者との
相互信頼・協力を促進するための基盤にもなるものである。この考え方に基づき、教育
科目群は「科学的思考」、「人間理解と社会」、「語学」の 3 つの科目区分によって構成さ
れる。この群では、保健・医療・福祉領域に従事する専門職として必要な強い倫理観と
豊かな人間性、そして柔軟かつ創造的な知性及び実践できる能力の形成を育む。

¹ 学士課程教育の構築に向けて・中央教育審議会答申

なお、教養科目を担当している専任教員の負担は、非常勤講師を補充することで最小限にとどめている。

2) 学部共通科目の編成と特色

「学部共通科目群」では、専門職種間で相互理解を深めるため、既設 6 学科に加え、新設する診療放射線学科（届出済）を加えた計 7 学科が互いに密な連携をとる。密な連携を強固なものにすると同時に、専門職種連携に関する科目の更なる充実を図ることを目的に、令和 2 年度に既設 6 学科のカリキュラムを改編し、診療放射線学科（届出済）を含む保健医療学部の全 7 学科で「学部共通科目群」の科目編成を次の表のように統一する。

◆保健医療学部の「学部共通科目」の新旧対照表 (※印は必修科目を表す)

	既設 6 学科の現行カリキュラム<旧>			令和 2 年度カリキュラム (全 7 学科共通) <新>		
	科目名	講義 形態	配当 年次	科目名	講義 形態	配当 年次
学 部 共 通 科 目 群	—	—	—	MBS (Morinomiya Basic Seminar)※	講義	1 前
	—	—	—	チーム医療見学実習※	演習	1 前
	チーム医療とコミュニケーション※	演習	2 後	医療コミュニケーション※	講義	2 前
	—	—	—	チーム医療論※	演習	2 後
	IPW 論※	演習	3 前	IPW 論※	演習	3 前
	スポーツ健康科学演習	演習	1 前	基礎体育	演習	1 後
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	講義	1 前	健康科学(スポーツ社会学を含む)	講義	1 前
	健康管理学 I	講義	1 後	健康管理学 I	講義	2 前
	健康管理学 II	講義	2 後	健康管理学 II	講義	2 後
	栄養学	講義	2 後	栄養学	講義	2 後
	身体運動科学	演習	2 前	身体運動科学	講義	2 前
	東洋医療概論	講義	3 前	東洋医療概論	講義	3 前
	統合医療概論	講義	3 前	統合医療概論	講義	3 前

これにより、「学部共通科目群」では 7 学科が密に連携をもち、専門職種間での相互の理解を深めた教育を目指す。学科を越えて同じ目標に向かい、ともに学ぶ機会を設けることで異なる医療職種の理解につなげる。

特に「MBS (Morinomiya Basic Seminar)」、「チーム医療見学実習」は入学当初から座学と見学実習を通して医療への興味と理解と深め、専門職医療人の基礎を確立する。また、「医療コミュニケーション」と「チーム医療論」は、医療の現場でチームとして協働するために必要とされる資質や素養を身につけるために必修とした。ここでは医療

者と患者間、及び医療者同士のコミュニケーションを学ぶとともに、医療におけるコミュニケーションの重要性とチーム医療の意義を学び、多様な環境に対応できる能力を育む。さらに、同じく必修とした「IPW 論」では、異なる医療職を目指す他学科の学生との症例検討等を通し、専門職間連携の方法について学びを深める。

3) 専門科目の編成と特色

学科専門科目群の専門科目群では、「臨床検査技師学校養成所指定規則」に規定されている教育内容を確保するために、「臨床病態学」、「形態検査学」、「生物化学分析検査学」、「病因・生体防御検査学」、「生理機能検査学」、「検査総合管理学」、「医療安全管理学」、「総合領域」、「卒業研究」及び「臨地実習」に分けて科目を配置している。「形態検査学」、「病因・生体防御検査学」、「生理機能検査学」は、講義・演習・実習で構成され、臨床検査を実践するうえで必要となる知識と技術が系統的・体系的につながり、総合的な理解が深まるように配置されている。

なお、3年後期における臨地実習については、すでに70名の学生を受け入れるだけの実習先は確保できており、担当する教員数も担保されていると考える。【資料8】

また、細胞検査士養成課程は、臨床検査学科2年次から3年間15名程度の学生を対象に「細胞診断学」の講義・演習・実習を通して、がんを中心に学修し、病態に関する知識の深化を目指すとともに、細胞検査士の資格取得を目指す。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

1) 教育方法

① 他学科との連携教育

質の高い医療を提供するためには、他職種と連携したチーム医療が必要不可欠となっている。学部共通科目では他学科の学生と共に学び、自分の専門領域のみならず他領域の広範な視点を加えてチームで目標を共有し、実践できる能力を育成する。

② 少人数教育

実習・演習は少人数のグループを編成することで、学生の積極的な参加を促し学修効果を高める。講義に関しても、科目に応じてグループワークや討論の場を積極的に設けて学生の主体的・能動的な学修態度を育成すると共に、個別的な学修支援の徹底

を図る。3年次からは学生を各研究室に振り分け、卒業研究に必要な専門知識を深めるために学生一人ひとりの志向や能力を見極め、きめ細かな指導を行う。

③ 課題探究・問題解決能力を養う教育

将来、現場で遭遇する可能性のある多種多様な問題を解決するには論理的・総合的な判断能力が必要である。実習・演習では「なぜ」という問いを大切にし、教員が安易に答えを提示するのではなく学生自ら答えを導き出すことを手助けする。たとえその答えが間違っているとしてもそのプロセスを重視し掘り下げて考える力を育む。また卒業研究では問題点を抽出し解決するための科学的思考力や、日常業務の中に新しいものを見つけようとする課題探究能力を養う。

④ 学年担任制度の導入

臨床検査学科では学年担任制をとり、定期的に履修方法や学生生活に関して面接指導を行う。3年次以降は、学年担任とゼミの教員が連携してそれらの対応・指導にあたる。また、学生と教員とのコミュニケーションを充実させるため、専任教員はオフィスアワーを設定し、講義に関する質問だけでなく、勉強の仕方や学生生活に関する相談にも応じる。

⑤ キャップ制の導入

本学のすべての学科において、履修科目の年間登録上限単位数を44単位（半期では24単位）で設定している。

年間登録上限単位数を設定することは、単位の実質化を目的に、学生負担の軽減と履修科目の学習時間の確保を行うことで、十分な学習効果を上げることを目指している。特に、病院等医療施設における臨床（臨地）実習を履修するまでに臨床検査技師学校養成所指定規則に定める単位数をおおよそ修得し、十分な知識を兼ね備えたうえで臨床（臨地）実習に出ることが望ましいことに加え、教養科目群等に関する科目の履修に関し十分な学修時間を確保できるような上限とした。

2) 履修方法とその指導

大学における履修は、高等学校までの履修に比較して相違点が多いので、学生が履修方法を理解できるように定例的に履修指導を行う。学期の初めにオリエンテーションを企画し、学生のニーズに対応できるようにする。

さらに、履修に関わる質問や成績不良者の指導などは随時、個別に実施する。本学は学年担任制で、担任が中心となって学生指導に当たるが、基礎ゼミナールの担当者などと連携して、適切な対応・指導を実施する。基本的な履修指導として、学生自身の興味・関心を尊重し、卒業後の進路も視野に入れた科目履修を促す。最終的には自律できるようにし、履修にかかわる個人的相談にも対応する。

(3) 教員組織の変更内容

この度の収容定員の変更に伴う教員組織の変更については、平成31年4月に臨床検査学科に専任教員を1名採用し、12名体制とした。令和2年4月には新たに専任教員を1名採用し、大学院保健医療学研究科の教員1名を臨床検査学科の専任教員とする予定である。これによって臨床検査学科の専任教員は14名体制となり、結果学生数と比較しても教員数は十分であり、従来の教育水準を維持できると考える。

教員組織の編成については、臨床検査学科の専任教員14名（教授10名、講師1名、助教3名）のうち、医師の資格を持つ者3名（教授3名）、臨床検査技師の資格を持つ者9名（教授5名、講師1名、助教3名）、薬剤師の資格を持つ者1名（教授1名）、柔道整復師の資格を持つ者1名（教授1名）で、全員が臨床における実務経験、あるいは医療系大学大学院での教育経験を有する。臨床検査技師の資格を持つ者は、9名中8名が臨床経験5年以上である。また教授は10名全員が博士の学位を有し（医学5名、保健学3名、生活科学1名、細胞検査学1名）、講師・助教のうち3名は修士の学位を持つ。これより専任教員は皆が臨床検査医学の教育研究をするにあたり十分な資質を有していると考ええる。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

この度の収容定員に係る学則変更は、既存の臨床検査学科の収容定員変更であり、入学定員の10名増加である。臨床検査学科が使用している南棟の講義室のみならず、生理学、分析系、形態系実習室は元々校舎建設時に余裕を持たせた設計となっており、70名収容に必要なスペースが十分確保されている。よって収容定員増にかかる学則変更に対応できる教育環境を有していると考ええる。

また、令和2年4月に診療放射線学科（届出済）を設置予定であるため、平成28年に追加購入した校地（大阪市住之江区南港北1丁目40番3号）にS造5階建ての新棟（新校舎）を建築する予定となっており、令和2年2月に竣工を計画している。

現在、食堂棟では1,520名の収容定員に対し約340席を準備しているが、新棟（新校舎）には、令和2年4月開設予定の診療放射線学科（届出済）が使用する講義室、実習室、研究室以外にも、全学で共用するカフェテリア（492㎡）に約250席を準備する予定であり、コミュニケーションラウンジ等の施設・設備も整備する。4年後の令和5年度には1,880名の学生数になるが、それに対し食堂棟とカフェテリアで約590席を準備する予定であるため、収容定員変更・新学科設置前と比較しても教育、研究、学生生活を行う施設・設備として同等以上の内容が担保されると考えている。

新棟を含む大学全体の施設・設備の具体的な概要は、以下の通りである。

まず、校舎の基本的な整備方針として、高度な知識と臨床技術を修得した専門職医療人を育成することから、少人数の教室を備えると共に、特に実習室の充実を図る。校舎整備の具体的な方針として、①少人数指導も可能な講義室群、②基礎的な技術指導が可能な実習室群、③個人指導及び問題解決能力を養う演習室群、④教員の積極的な研究を促す実験・研究室群、⑤地域との交流の場、生涯学習の場となり得る施設群などを目指し、各室を整備する。

1) 講義室

講義室は現有校舎に大小合わせて48室ある。臨床検査学科は南棟の3階と4階にある1室あたり約90名を収容できる講義室を計4室使用している。このほか、現有校舎に、保健医療学部全体で共有する講義室として少人数用の小講義室や400名を収容できる講堂等を備え、人数規模に合わせて使用できるよう配慮している。

2) 基礎的な技術指導が可能な実習室

演習室・実験実習室は現有校舎に56室ある。このうち臨床検査学科が使用するものは、それぞれの用途に合わせた設備を有する3室の実習室で、145.80㎡～212.70㎡の広さを持つ。機器・備品は、双眼顕微鏡76台、冷却遠心機6台、微量可変ピペット100個、薬用冷蔵ショーケース6台、バイオメディカルフリーザー4台、超低温フリーザー

2 台等、すでに 70 名の学生数に対応した数を配備しており、多様な臨床検査の実習に即して整備している。具体的には、生理学実習室に心電計、脳波計、超音波検査装置等を、形態系実習室にマイクローム、組織切片染色器具、遠心分離機等を、分析系実習室に分光光度計、電気泳動装置等を配置する。【資料 9】

さらに、学部共有の顕微鏡室が南棟に 1 室、情報処理室が 1 室東棟に設けられている。

このように現在の臨床検査学科の設備・機器に関しては、収容定員増に係る学則変更
に十分対応できると考える。また、今後も必要に応じて専門機器・備品の台数増加等、
教育体制を充実させる計画である。

3) 専任教員の実験・研究施設

専任教員の研究室は、現有校舎に 63 室ある。新棟（新校舎）には、5 階に個人研究室 18 室と、共同研究室 1 室を整備する。共同研究室（約 50 m²）は 10 名程度を収容可能であり、准教授、講師、助教、助手が共同で使用するのに十分な広さを有する。なお、室内はパーティション等で仕切りを設けるなどして、教員一人ひとりの研究環境が確保されるよう配慮する。

専任教員の実験室は現有校舎に 10 室あり、各教員の研究分野に応じた実験に対応している。東棟には動物を対象とする実験室、生理学系実験室、病理学系実験室が 1 室ずつ、西棟には多目的実験室 4 室がある。南棟には臨床検査、臨床工学等に関連した実験室を 3 室整備している。新棟（新校舎）にも実験室を 1 室設ける予定である。

4) 個別指導及び問題解決能力を養う演習室

語学演習や卒業研究に活用できる小スペースの演習室を、現有校舎に合計 14 室設けており、新棟（新校舎）にも新たに 4 室の演習室を整備する。学生と教員が直接対話できる小空間を用いることにより、問題提起の訓練や解決能力向上の育成に役立たせるほか、卒業研究の指導等にも活用する。

5) 図書館、運動施設

大学共有の図書館は南棟 2 階に設置されており、図書館の面積は 1027.17 m²、閲覧
座席数は 274 席、収容可能冊数は 8 万冊となっており、新学科開設及び 10 名の入学定
員増による利用者数の増加に十分対応できるものと考えている。

運動施設としては、平成 28 年度にバスケットボールコート 2 面、バレーボールコー
ト 2 面、バドミントンコート 6 面を取ることができる体育館を整備しているほか、平成
29 年度には、体育系の授業や課外活動に使用できる多目的スポーツ施設「グリーンス
クエア」を設けた。これは、フットサルやサッカーに対応した人工芝舗装部（約 1,936
m²）、多目的広場としてクレール舗装部（約 1,468 m²）、ランニングコースとしてウレタン
舗装部（周回 300m）を備えた施設となっており、夜間の使用にも対応するべく人工芝
舗装部には LED 照明も設置している。

また、本学から専用バスで 7 分の距離にある、運動場 4 面、球技場 2 面、体育館 2
棟、テニスコート 21 面を有する「舞洲スポーツアイランド」を、従来から体育の授業
や部活動等に使用しており人数増加にも十分対応が可能である。

以上から、運動施設としても収容定員の増加に問題なく対応できると考えている。

6) その他

学生が自習等を行うためのフリースペースは、東棟 1 階と 4 階、西棟 1 階と 2 階、
南棟の 1 階、3 階、4 階、5 階、7 階に整備されている。新棟（新校舎）では、5 階にあ
る専任教員の研究室前に、学生の自習等のスペースを設けることにより、学生と教員が
気軽にコミュニケーションをとれる空間をつくる。

既存の食堂に加えて新棟（新校舎）2 階にカフェテリアを新たに設け、福利厚生施設
の充実もはかる。

以上のように、大学全体の施設・設備については必要十分な整備を行っており、今回
の入学定員増に十分に対応が可能であると考えている。

以上

学則の変更の趣旨等を記載した書類

<資料目次>

- 資料 1 病院における臨床検査技師数
- 資料 2 臨床検査技師会員の勤務先状況
- 資料 3 近畿エリアの臨床検査技師養成校一覧
- 資料 4 近畿エリアの臨床検査技師養成校である私立大学の入試動向
- 資料 5 近畿エリアの臨床検査技師養成校における求人状況 (省略)
- 資料 6 本学における臨床検査学科の求人状況
- 資料 7 臨床検査技師の男女別年齢構成
- 資料 8 グループ別実習計画表
- 資料 9 主な機械器具、標本、模型等

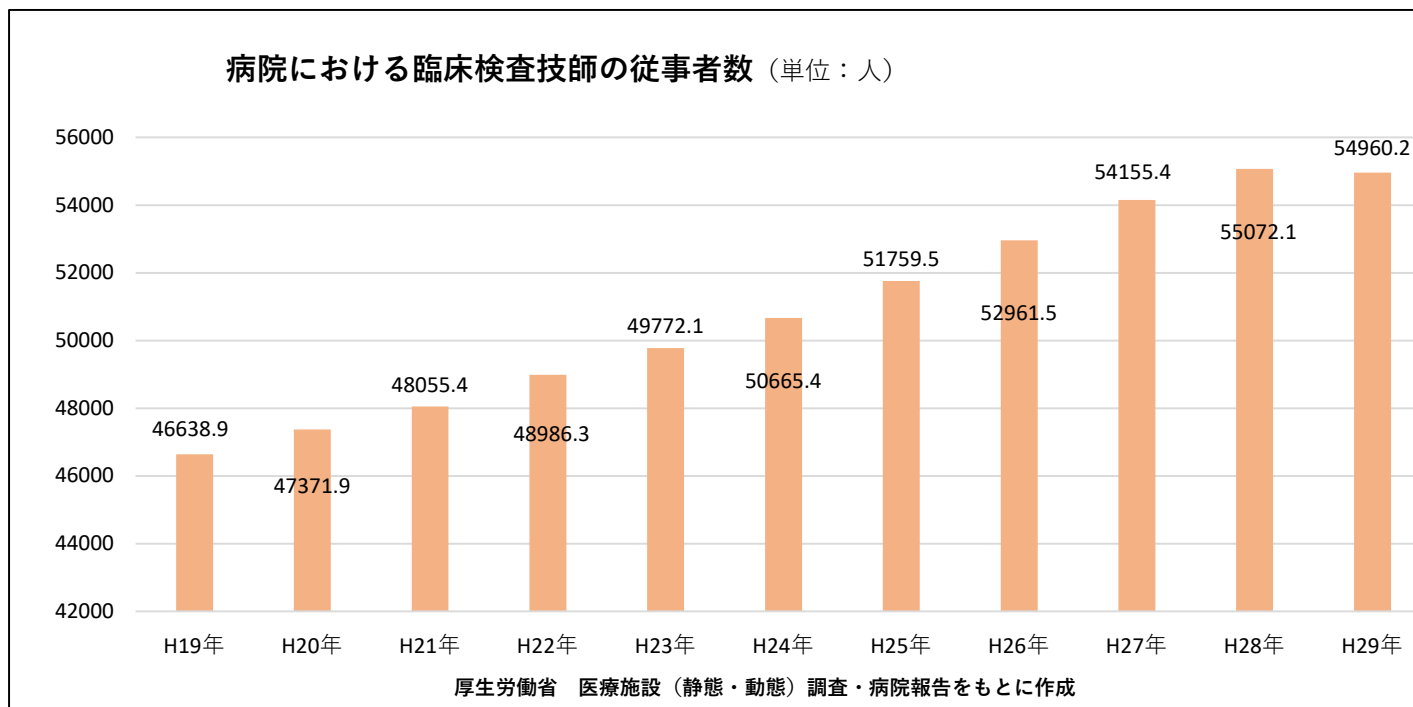
病院における臨床検査技師数

令和元年5月17日現在

(単位：人)

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
臨床検査技師	46638.9	47371.9	48055.4	48986.3	49772.1	50665.4	51759.5	52961.5	54155.4	55072.1	54960.2

厚生労働省 医療施設（静態・動態）調査・病院報告をもとに作成



資料1

臨床検査技師会員の勤務先状況

勤務先	人数	全体の割合
中央検査部・検査室	26,066	87.26%
採血室	1,435	4.80%
手術室	25	0.09%
病棟(集中治療室)	2	0.01%
病棟(ハイケア・救急病室)	2	0.01%
病棟(一般)	19	0.06%
救急外来	15	0.05%
外来(一般)	286	0.96%
管理(検査関連)	156	0.52%
透析センター	28	0.09%
内視鏡センター	157	0.52%
心カテ室	97	0.33%
事務系(医事・診療情報)	34	0.12%
地域連携室	6	0.02%
広報	0	0.00%
情報・システム	23	0.08%
医療安全推進室	20	0.07%
治験・臨床研究	84	0.28%
健診・検診センター	1,007	3.37%
検査センター	94	0.32%
研究所(民間)	1	0.00%
研究所(大学)	23	0.08%
教育機関(専門学校)	0	0.00%
教育機関(大学・大学院)	3	0.01%
企業(製薬)	0	0.00%
企業(試薬)	0	0.00%
企業(医療機器)	0	0.00%
介護施設・在宅	5	0.02%
営業・販売	3	0.01%
血液・献血センター	33	0.11%
保健所・検疫所	0	0.00%
認知症患者医療センター	0	0.00%
がん診療連携拠点病院 等	0	0.00%
その他	246	0.82%
合計	29,871	100.00%

※一般社団法人日本臨床衛生検査技師会による平成29年度会員施設実態調査を基に作成

近畿エリアの臨床検査技師養成校一覧

(令和元年6月13日現在)

※参照：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会

※参照：旺文社「パスナビ」、各大学HP

番号	都道府県	設置者	種別	名称	郵便番号	住所	平成31年度 入学定員	平成26年度 入学定員
1	大阪府	私立	大学	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	559-8611	大阪市住之江区南港北1-26-16	60名	—
2	滋賀県	私立	大学	長浜バイオ大学 フロンティアバイオサイエンス学部 臨床検査コース	526-0829	長浜市田村町1266	30名	—
3	京都府	私立	専門	京都保健衛生専門学校 臨床検査学科 (第一：昼間 第二：夜間)	602-8155	京都市上京区千本通竹屋町東入主税 町910	昼間：40名 夜間：40名	昼間：40名 夜間：40名
4	京都府	私立	大学	京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科	607-8175	京都市山科区大宅山田町34	80名	—
5	京都府	国立	大学	京都大学 医学部 人間健康科学科 総合医療科学コース	606-8507	京都市左京区聖護院川原町53番地	学科一括募集 のため コース別不明	37名
6	大阪府	国立	大学	大阪大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	565-0871	吹田市山田丘1-7	40名	40名
7	大阪府	私立	大学	関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	590-0482	泉南郡熊取町若葉2-11-1	60名	50名
8	大阪府	私立	専門	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科	530-0044	大阪市北区東天満2-1-30	80名	80名
9	大阪府	私立	専門	大阪行岡医療専門学校 長柄校 臨床検査科	531-0061	大阪市北区長柄西1-7-53	40名	40名
10	大阪府	私立	専門	日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科	577-0803	東大阪市内小阪4-12-3	80名	80名
11	奈良県	私立	大学	天理医療大学 医療学部 臨床検査学科	632-0018	天理市別所町80-1	30名	30名
12	兵庫県	国立	大学	神戸大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	654-0142	神戸市須磨区友ヶ丘7-10-2	40名	40名
13	兵庫県	私立	大学	神戸学院大学 栄養学部 栄養学科 生命栄養学専攻※ ※2020年度入学生より臨床検査学専 攻へ名称変更	651-2180	神戸市西区伊川谷町有瀬518	65名	65名
14	兵庫県	私立	大学	神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	653-0838	神戸市長田区大谷町2-6-2	80名	80名

近畿2府4県の養成校 14校 (大学10校 専門学校4校)
うち、大阪府の養成校 6校 (大学3校 専門学校3校)

近畿エリアの臨床検査技師養成校である私立大学の入試動向

大学名	学部学科名(入学定員数)	年度	入試方法	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
森ノ宮医療大学	保健医療学部 臨床検査学科 (60名)	2018	AO入試	10	47	47	8	4.7	—
			推薦入試	20	207	204	43	10.4	—
			一般入試	30	236	232	78	7.9	—
			合計	60	490	483	129	8.2	—
		2019	AO入試	10	59	56	10	5.9	—
			推薦入試	20	231	225	46	11.6	—
一般入試	30		268	255	63	8.9	—		
合計	60		558	536	119	9.3	—		
長浜バイオ大学	バイオサイエンス学部 フロンティアバイオサイエンス学 科 臨床検査学コース (30名)	2018	推薦入試	7	36	36	24	5.1	—
			一般入試	18	76	71	37	4.2	—
			センター利用方式	5	49	49	24	9.8	—
			合計	30	161	156	85	5.4	—
		2019	推薦入試	7	33	31	22	4.7	—
			一般入試	18	41	41	20	2.3	—
センター利用方式	5		30	30	21	6.0	—		
合計	30		104	102	63	3.5	—		
京都橋大学	健康科学部 臨床検査学科 (80名)	2018	AO入試	3	12	12	10	4.0	—
			推薦入試	30	199	196	94	6.6	—
			一般入試	7	626	594	80	89.4	—
			センター利用方式	40	253	249	25	6.3	—
		合計	80	1090	1051	209	13.6	—	
		2019	AO入試	3	15	15	10	5.0	—
			推薦入試	30	248	247	93	8.3	—
			一般入試	7	571	537	78	81.6	—
センター利用方式	40		289	287	27	7.2	—		
合計	80	1123	1086	208	14.0	—			
関西医療大学	保健医療学部 臨床検査学科 (60名)	2018	推薦入試	28	135	133	43	4.8	—
			一般入試	27	239	226	40	8.9	—
			センター利用方式	5	97	97	20	19.4	—
			合計	60	471	456	103	7.9	68
2019	未公表	—	—	—	—	—	—		
天理医療大学	医療学部 臨床検査学科 (30名)	2018	推薦入試	15	16	15	14	1.1	—
			一般入試	15	32	30	23	2.1	—
			合計	30	48	45	37	1.6	—
2019	未公表	—	—	—	—	—	—		
神戸学院大学	栄養学部 栄養学科 生命栄養学専攻※ (65名) ※2020年度入学生より臨床検査学専 攻へ名称変更	2018	推薦入試	18	91	91	75	5.1	18
			一般入試	31	291	287	223	9.4	31
			センター利用方式	8	35	35	31	4.4	5
			その他	8	10	10	10	1.3	10
		合計	65	427	423	339	6.6	64	
		2019	推薦入試	18	96	96	74	5.3	24
			一般入試	31	257	245	106	8.3	17
			センター利用方式	8	43	43	29	5.4	3
その他	8		17	16	16	2.1	16		
合計	65	413	400	225	6.4	60			
神戸常磐大学	保健科学部 医療検査学科 (80名)	2018	推薦入試	38	93	93	67	2.4	—
			一般入試	42	174	174	88	4.1	—
			センター利用方式含む	—	—	—	—	—	—
		合計	80	267	267	155	3.3	96	
2019	未公表	—	—	—	—	—	—		
2018年度入学者選抜の合計				405	2,954	2,881	1,057	7.3	—

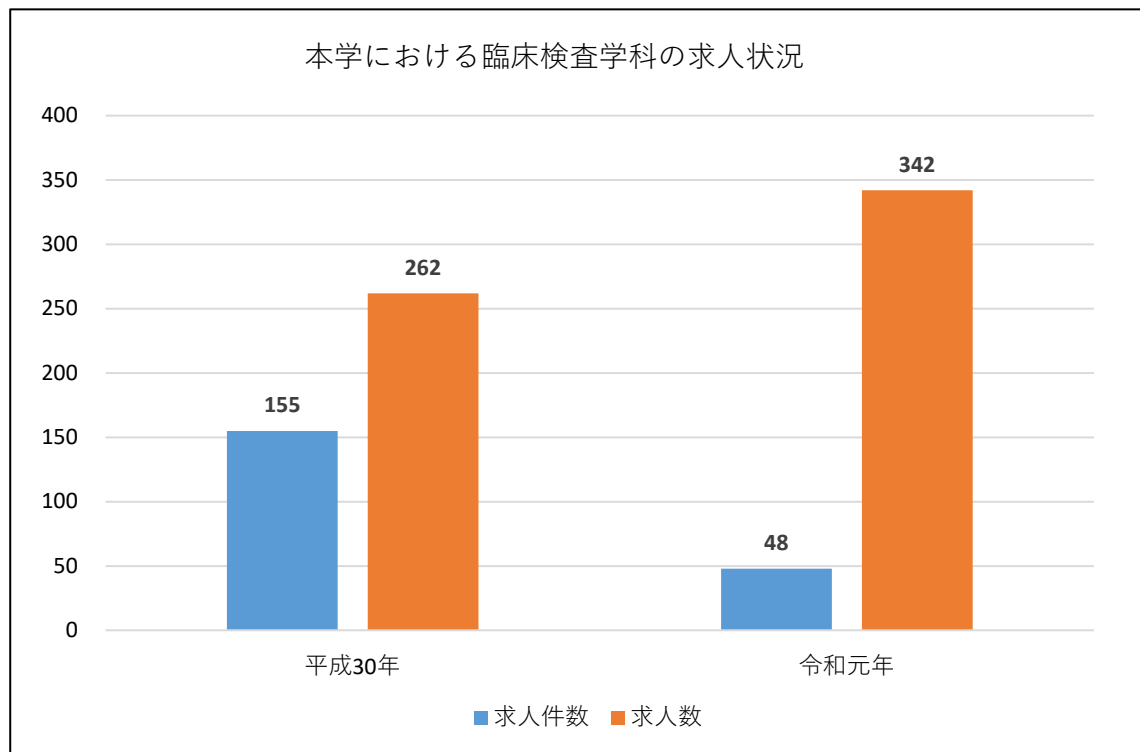
※参照:旺文社「パスナビ」、各大学ホームページ

※志願倍率:募集人数に対する志願者数の割合

本学における臨床検査学科の求人状況（令和元年5月17日現在）

	平成30年	令和元年
求人件数	155	48
求人数	262	342

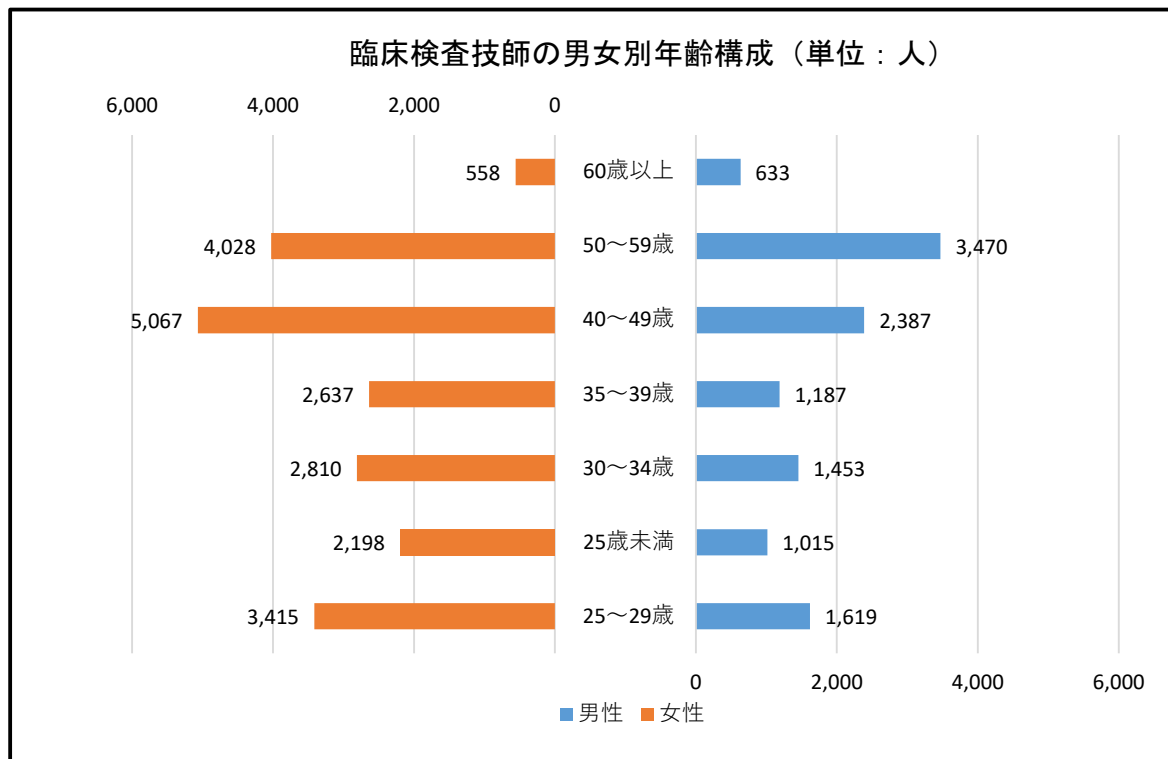
※臨床検査学科の完成年度は令和元年



臨床検査技師の男女別年齢構成

年齢	男性	女性
25～29歳	1,619	3,415
25歳未満	1,015	2,198
30～34歳	1,453	2,810
35～39歳	1,187	2,637
40～49歳	2,387	5,067
50～59歳	3,470	4,028
60歳以上	633	558

(単位：人)



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 H29年度の各種報告書をもとに作成

■グループ別実習計画表(3年次臨地実習)

2019年6月5日現在

グループ	番号	担当教員	8月	9月	10月					11月											
			3週目	4週目 ※教員訪問	1週目 ※適宜巡回	2週目 ※適宜巡回	3週目 ※教員訪問	4週目 ※教員訪問	5週目 ※適宜巡回	1週目 ※適宜巡回	2週目 ※適宜巡回										
1	1	森 誠司(教授)	各実習施設との事前協議・調整	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター																	
G	2																				
2	3																				
G	4																				
3	5																				
G	6																				
4	7	上田 真喜子(教授)		公立大学法人大阪 大阪市立大学医学部附属病院																	
G	8																				
5	9																				
G	10	地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター																			
6	11																				
G	12																				
7	37	脇 英彦(教授)		学校法人 兵庫医科大学 兵庫医科大学病院																	
G	38																				
8	21	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院		西宮市立中央病院																	
G	22																				
9	17	小林 吉晴(教授)		箕面市立病院																	
G	18																				
10	23	宝塚市立病院																			
G	24																				
11	15	小宮山 恭弘(教授)		八尾市立病院																	
G	16																				
12	19												市立岸和田市民病院								
G	20																				
13	39	社会医療法人 景岳会 南大阪病院																			
G	40																				
14	13	竹岡 啓子(教授)		学校法人 近畿大学 近畿大学病院																	
G	14																				
15	25		一般財団法人 住友病院																		
G	26																				
16	27		日本赤十字社 大阪赤十字病院																		
G	28																				

グループ	番号	担当教員	8月	9月	10月					11月	
			3週目	4週目 ※教員訪問	1週目 ※適宜巡回	2週目 ※適宜巡回	3週目 ※教員訪問	4週目 ※教員訪問	5週目 ※適宜巡回	1週目 ※適宜巡回	2週目 ※適宜巡回
G	29	佐伯 康匠(助教)	各 実 習 施 設 と の 事 前 協 議 ・ 調 整	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会 大阪府済生会中津病院							
	30										
	31			宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院							
	32										
	33			社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会吹田病院							
	34										
G	35			国家公務員共済組合連合会 大手前病院							
	36										
G	41			関西電力株式会社 関西電力病院							
	42										
G	43	藤原 牧子(講師)		公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院							
	44										
G	45			パナソニック健康保険組合 松下記念病院							
	46										
G	47			医療法人 育和会 育和会記念病院							
	48										
G	49			社会医療法人 生長会 府中病院							
	50										
G	51			医療法人 河内友誼会 河内総合病院							
	52										
G	53			医療法人 錦秀会 阪和第二泉北病院							
	54										
G	55			医療法人 錦秀会 阪和記念病院							
	56										
G	57			医療法人 明和病院							
	58										
G	59			西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院							
	60										
G	61			独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター							
	62										

グループ	番号	担当教員	8月	9月	10月					11月	
			3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	1週目	2週目
				※教員訪問	※適宜巡回	※適宜巡回	※教員訪問	※教員訪問	※適宜巡回	※適宜巡回	※適宜巡回
32	63	関根 将(助教)	各実習施設との事前協議・調整	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院							
G	64			独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター							
33	65			独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院							
G	66			学校法人 関西医科大学 関西医科大学総合医療センター							
34	67										
G	68										
35	69										
G	70										

主な機械器具、標本、模型等(臨床検査学科)

No.	品名	令和元年 数量
1	冷却遠心機	6
2	薬用冷蔵ショーケース	6
3	バイオメディカルフリーザー(-30℃)	4
4	超低温フリーザー(-80℃)	2
5	振盪恒温水槽	9
6	純水製造装置	2
7	ストップウォッチ	35
8	攪拌装置(マグネチックスターラ)	9
9	採血針ホルダー付	100
10	採血管 ネオチューブ	100
11	Phメーター	10
12	微量可変ヒーター	100
13	電子天びん	8
14	回路網実習装置	1
15	低周波発振器	1
16	ブラウン管オシロスコープ	1
17	テスター	8
18	双眼顕微鏡	76
19	CCDカメラシステム	1
20	蛍光顕微鏡	1
21	倒立顕微鏡(蛍光含む)	1
22	滑走式マイクローム	5
23	クリオスタット	1
24	パラフィン熔融器	1

No.	品名	令和元年 数量
25	パラフィン伸展器	2
26	密閉式自動固定包埋装置	1
27	臨床用屈折計	4
28	超微量分光光度計	1
29	分光光度計	10
30	血球計算盤	100
31	ヘマトクリット遠心機	1
32	サーベイメーター	1
33	遺伝子増幅用恒温槽(PCR)	2
34	オートクレーブ	3
35	乾熱滅菌器	1
36	CO2インキュベーター	2
37	微生物コロニーカウンター	1
38	マイクロミキサー	9
39	吸光マイクロプレートリーダー	1
40	吸引・加圧ポンプ	2
41	液体窒素細胞保存容器	1
42	液体窒素運搬保存用容器	1
43	心電計	4
44	血圧脈波検査装置	1
45	脳波計	1
46	超音波検査装置	2
47	超遠心機	1

森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科

学生の確保の見通し等を記載した書類

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況.....	1
	(1) 学生確保の見通し.....	1
	ア 定員充足の見込み	
	イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	
	(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	3
	① オープンキャンパス	
	② 受験雑誌・進学サイト	
	③ 進学相談会/高校ガイダンス	
	④ 高校訪問	
	⑤ 教員対象説明会	
	⑥ 本学 WEB サイト	
2	人材需要の動向等社会の要請.....	5
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）.....	5
	① 精度の高い専門知識と専門技術	
	② チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力	
	③ 豊かな人間力	
	④ 主体的問題解決能力	
	(2) 上記(1)が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえていることの根拠.....	6
	① 社会的な需要	
	② 近畿および大阪エリアにおける臨床検査技師の需要状況	
	③ 本学に対する求人状況	
	④ 既設学科の求人状況	

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

1) 入学定員設定の考え方

本学は開学以来安定して入学定員を満たす志願者を確保しており、医療系大学として周辺地域の方々に支持されてきた。この度、保健医療学部臨床検査学科を増員するに当たり、①教員組織、実習指導体制、学生支援体制、教育施設・設備等の面において現行の水準が確保できること、②「学則の変更の趣旨等を記載した書類」に記載されている臨床検査技師の社会的ニーズに応えること、③長期的な学生確保が可能であること、等の観点を考慮した。

また、上記の要件に加え、「臨床検査技師学校養成所指定規則」にある定員等を考慮し、教育効果や学習効率を十分に達成できる環境を構築する上で支障のない人数として総合的に判断した結果、臨床検査学科の入学定員を10名増員し70名(収容定員280名)に設定することとした。

大学名	学部名	学科名	入学定員
森ノ宮医療大学	保健医療学部	鍼灸学科	60名
		理学療法学科	70名
		看護学科	90名
		作業療法学科	40名
		<u>臨床検査学科</u>	<u>60名→70名</u>
		臨床工学科	60名
		診療放射線学科 (平成31年3月収定増認可申請中) (平成31年4月届出済)	80名

2) 定員を充足する見込み

臨床検査学科を増員するにあたり、全国の志願者動向、近畿エリアにおける志願者動向、大学を取り巻く環境・競合大学の動向、本学保健医療学部臨床検査学科への進路希望状況等の調査や分析をおこなった。その結果、次に示す内容により、進学ニーズが拡大していること、拡大傾向が継続的であること、直接具体的な志願者数が示されたことから、継続的に学生を確保し定員を充足する見通しであると判断した。

- ①全国的に、臨床検査学を含む「保健系分野」への進学ニーズが高いこと
- ②近畿エリアにおいて、臨床検査技師養成校への進学ニーズが見込めること
- ③近畿エリアにおいて、臨床検査技師養成校である大学が本学以外に 9 校と少なく、特に大阪市内には本学のみであること
- ④本学は開学以来順調に志願者を確保していること
- ⑤臨床検査学科についても順調に志願者を確保していること

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 臨床検査学を含む「保健系分野」への全国的な進学ニーズ

文部科学省発表の学校基本調査（大学の関係学科別入学者数）より、保健系分野への進学者数は年々増加していることがわかる。過去 5 年間の増加率を平均すると、大学全体では毎年平均 3.0%、私立大学では毎年平均 3.6%ずつ進学者数が増加している。【資料 1】

また、日本私立学校振興・共催事業団私学経営情報センター集計の「私立大学・短期大学等入学志願動向」より、臨床検査学を含む保健系学部に対する「志願者数」「受験者数」「入学者数」はいずれも過去 5 ヶ年にわたり増加していることがわかる。また、志願倍率についても、5.4～6 倍程度で、入学定員充足率は 100%を割ることなく安定的に推移しており、これらのことから進学ニーズの高さがわかる。【資料 2】

2) 本学の医療系大学としての実績（入試状況）

本学は過去 5 ヶ年にわたり安定して志願者を確保しており、入学定員を十分に満たす学生数を維持している。このような本学の医療系大学としての実績は、臨床検査学科の定員充足の見込みを裏付ける一つの根拠であるといえる。

保健医療学部全体でみると、平成 26 年度に実施した入試の志願者数が 1,529 名（競争率 4.72 倍）、平成 27 年度実施入試の志願者数が 2,978 名（競争率 4.88 倍）、平成 28 年度実施入試の志願者数が 3,298 名（競争率 5.67 倍）、平成 29 年度実施入試の志願者数 3,304 名（競争率 4.84 倍）、平成 30 年度実施入試の志願者数 2,823 名（競争率 4.23 倍）となっており競争率は常に高い水準を維持している。【資料 3】

臨床検査学科についても、開設以来、順調に志願者を確保しており、過去の入試状況をみても、平成 28 年度実施入試の志願者数は 577 名（競争率 4.59 倍）、平成 29 年度実施入試の志願者数は 490 名（競争率 3.74 倍）、平成 30 年度実施入試の志願者数は 558 名（競争率 4.50 倍）と安定して高水準を維持し続けている。このことから、臨床検査学科の入学定員を 10 名増員しても、定員が充足される可能性は非常に高いと考えられる。

3) 近畿の臨床検査技師養成校（大学）の入試動向および本学との競合関係

本学の臨床検査学科と同分野の学科を有する近隣大学が志願者を十分に確保できていることも、本学が臨床検査学科の定員を充足できると考える一つの根拠となっている。

近畿エリアの臨床検査技師養成校のうち、私立大学は本学を除くと6校（長浜バイオ大学・京都橘大学・関西医療大学・天理医療大学・神戸学院大学・神戸常盤大学）あるが、いずれの大学も平成29年度から平成30年度実施の入試において、入学定員の1.7倍から14.0倍の志願者数を確保している。また、7大学の合計でみると、平成29年度実施の入試において、405名の募集人員に対して延べ2,954人が志願しており、志願倍率は7.3倍となっていることから、近畿エリアにおける臨床検査技師養成校の募集は安定していると言える。【資料4】

なお、近畿エリアの臨床検査技師養成校である大学は、本学以外に9校あり、それらの設置場所をみると、大阪府吹田市（1校：大阪大学）、大阪府泉南郡（1校：関西医療大学）、京都府京都市（2校：京都大学・京都橘大学）、兵庫県神戸市（3校：神戸大学・神戸常盤大学・神戸学院大学）、奈良県天理市（1校：天理医療大学）、滋賀県長浜市（1校：長浜バイオ大学）となっており、本学の位置する大阪府大阪市には臨床検査技師養成校である大学は本学のみである。【資料5】

また、本学の半径約20km圏内は、本学への出願者が多く居住するエリアであることも考慮すると【資料6】、本学の臨床検査学科は大阪市内や大阪市と近接する市区町村からの学生確保が十分に期待できる。これらのことは、本学が臨床検査学科の入学定員を増員しても、定員を充足できると考える根拠の一つになっている。

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では学生の確保に向け、アドミッションセンターが中心となり様々な取り組みを行っている。具体的には、広報室で起案している各種企画の内容的な報告・連絡・相談とその確定および学科内への業務依頼、情報の提供をアドミッションセンター会議において行い、それを各学科及び部署にフィードバックする体制が構築されている。この体制により、「オープンキャンパス」「進学相談会」「高校訪問」「教員対象説明会」等の学生募集活動を教職協働で連携し、長期的な学生確保のビジョンを持って取り組むことが可能となっている。

主な取り組み（予定含む）は以下のとおりである。

① オープンキャンパス

毎年、各高等学校のイベントや競合大学のスケジュールを考慮した上で、本学が求める学生が幅広く参加できるよう日程を調整し、内容においても開催時期ごとにテーマを設け、本学の認知向上とともに各学問領域への興味を喚起するものとなっている。また、

高校 3 年生を対象とするだけでなく、1・2 年生を対象としたプログラムや保護者を対象とした「保護者のための進学説明会」を実施することで、長期的な学生の確保に力を入れている。

また、「リアルオープンキャンパス」と題した「授業見学会（通常の大学の授業を見学できるイベント）」を開催し、本学への理解を促している。

② 受験雑誌・進学サイト

受験生等からの本学に対する資料請求件数は、開学以来順調に伸び続けている。【資料 7】資料請求件数全体のうち、受験雑誌や進学サイトを經由した請求が概ね 8 割程度を占めていることから、それらを通じた長期的な学生確保の取り組みに力を入れる。

また、これまで受験雑誌や進学サイトに掲載してきた内容に加え、診療放射線学科の新設に伴う新增設企画（新学科を特集するための専用の企画）への参加や、掲載雑誌およびサイトの拡大、広告枠の拡大などについても順次実施していくことにより、臨床検査学科についても更に広報活動を拡大できる。

③ 進学相談会／高校ガイダンス

複数の大学がブースを設け、来場した高校生やその保護者から相談を受け付ける「進学相談会」と、大学の広報担当者などが高校に向いて各学科の特色などを説明する「高校ガイダンス」を、本学の通学圏内となるエリアを中心に年間を通して実施する。参画する相談会／ガイダンスの学問分野を看護・医療系に限定し、看護・医療関連への興味関心の高い生徒との接点を増やすと同時に、高校 1・2 年生を対象とした相談会／ガイダンスへの参加を増やし、長期的かつ安定的な学生の確保に向けた取り組みを行っている。

進学相談会平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）実績：延べ 43 会場で実施、724 名と接触。

高校ガイダンス平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）実績：延べ 305 校で実施、5,557 名と接触。

④ 高校訪問

周辺的高等学校教員の本学への認知度を向上させる目的で、高等学校を訪問する。訪問目的と必要性を吟味し、訪問対象校や訪問時期・訪問回数・提案内容等を精査する。本学と同じ学科を有する大学が少ない近隣府県的高等学校への訪問を強化し、本学の認知度を高めることで当該分野に興味のある生徒の獲得を狙う。

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）実績：延べ 1,070 校訪問。近畿 2 府 4 県では延べ 876 校訪問。

⑤ 教員対象説明会

近隣府県の高等学校の教員を対象とした説明会を実施する。認知度や募集力の短期的な向上ではなく、より長期的な学生募集力の強化を目的としており、そのため本学全体の情報提供のほか、各学科の設置の趣旨やアドミッションポリシー、入学者選抜の方法等の情報を提供する。

⑥ 本学 WEB サイト

本学 WEB サイトに臨床検査学科の学科紹介ページを作成しており、臨床検査学科及び臨床検査技師への興味関心を促すとともに、日々更新される最新情報を滞りなく発信するツールとして活用する。受験生だけでなく、高校 1・2 年生を対象とした専用コンテンツも開設しており、長期的な学生の確保を意識した構成となっている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)

チーム医療における使命を理解し、臨床検査技師としての職責を自覚し、実践できるような次の①～④のような能力を身につけた人材を養成する。

① 精度の高い専門的知識と専門技術

臨床検査技師の専門性および役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚を有し、臨床検査の専門的知識・専門技術を活用することで、患者中心の専門職連携を実践することができる。

② チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために、臨床検査の専門知識のみならず他職種に関する幅広い知識を得ることができ、さらにチーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーションを向上させることができる。

③ 豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力に変えることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

④ 主体的問題解決能力

わからないこと・問題点を的確に把握し、それに対する探究心を持って積極的に情報収集

や分析ができ、自ら解決することができる。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえていることの客観的な根拠

① 社会的な需要

日本における臨床検査技師の需要は、少子高齢化とともに増加している。厚生労働省の「医療施設(静態・動態)調査・病院報告」によると、病院で働く臨床検査技師の数は、平成19年から平成29年の11年間で約8,300人増加している。【資料8】

また、臨床検査技師の勤め先は近年、医療機関だけでなく専門クリニックや健康診断実施機関、臨床検査受託企業、化粧品や食品などを研究する生物科学系企業などにもおよび、臨床検査技師への社会的需要が高まっている。

同時に、医療施設で働く臨床検査技師の年齢構成をみると、男女ともに高年齢化の傾向にあり、平成29年度の報告書では、現在50代以上の臨床検査技師は男女合わせて8,689人にのぼる【資料9】ことから、近い将来定年に達する臨床検査技師が急増し、新たに大学や専門学校を卒業し国家試験に合格した臨床検査技師への需要が高まることが予想される。

以上のことから、今後も臨床検査技師への中長期的な需要は十分に見込めると考えられる。

② 近畿および大阪エリアにおける臨床検査技師の需要状況

令和元年6月現在、大学と専門学校をあわせると、近畿エリアには本学以外で13校の臨床検査技師養成校がある。このうち5校は大阪府にあり、大学が2校、専門学校が3校となっており、大阪市内に限ると臨床検査技師養成校は本学と専門学校2校のみである。【資料10】

これら近畿エリアに位置する養成校には臨床検査技師の求人が多数寄せられているが、中には求人数が入学定員を大きく上回り、12倍近い求人倍率となっている養成校もある。【資料11】

社会における需要や本学の求人件数などを勘案すると、臨床検査技師の数はまだ十分満たされているとは言えず、本学の臨床検査学科卒業生への需要は高い水準を保つと考えられる。

③ 本学に対する求人状況

本学の臨床検査学科は、平成28年度4月開設のため、現在まで卒業生はいない状況である。

平成30年度に寄せられた求人件数は155件、求人数は262人であったが、完成年度を迎えた令和元年度では、5月17日現在で求人件数48件、求人数342人と順調に増

えており【資料 12】、今後昨年度並みに求人件数が増えることを想定すると、本学臨床検査学科の入学定員が 70 名になっても、十分な求人件数及び求人数が確保できると考える。

④ 既設学科の求人状況

本学既存の 3 学科（看護学科、理学療法学科、鍼灸学科）の求人件数は良好である。平成 28 年度から平成 30 年度の 3 年間の求人件数は 3 学科を合わせると 1,554 件～1,732 件であり、求人倍率は 7.9 倍から 8.8 倍であった。【資料 13】

この結果から、本学は医療職を養成する医療系大学として医療機関から一定の評価を得ていると言え、臨床検査学科の卒業生に対しても採用ニーズが見込める。

以上により、本学の臨床検査学科が養成する人材は社会的な要請に対応したものであり、入学定員を 60 名から 10 名増やし、70 名としても、卒業生に対する中長期的な人材需要が十分に確保できるものとする。

以上

森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

資料 1 保健系学科入学者推移表

資料 2 私立大学入学志願動向

資料 3 過去 5 ヶ年の本学の入学試験状況

資料 4 近畿エリアの臨床検査技師養成校である私立大学の入試動向

資料 5 近畿エリアにおける臨床検査技師養成校である大学の位置

資料 6 本学出願者の居住地ヒートマップ

資料 7 本学における年度別資料請求数

資料 8 病院における臨床検査技師数

資料 9 臨床検査技師の男女別年齢構成

資料 10 近畿エリアの臨床検査技師養成校一覧

資料 11 近畿エリアの臨床検査技師養成校における求人状況 (省略)

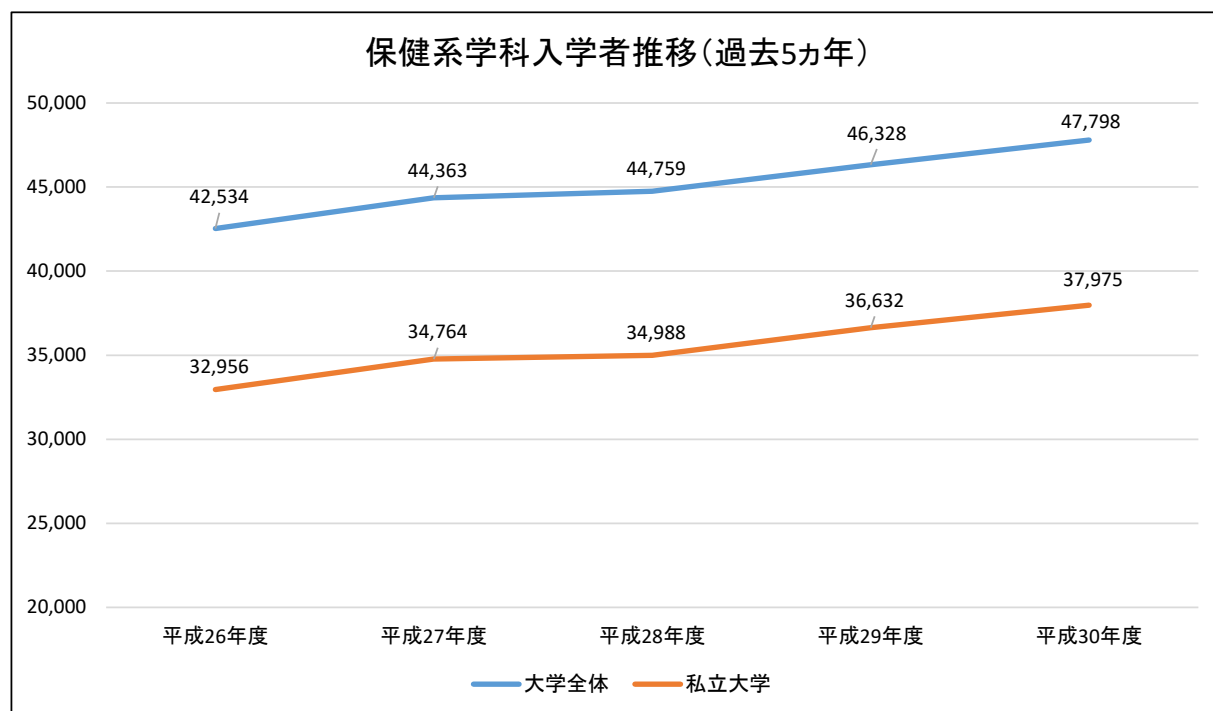
資料 12 本学における臨床検査学科の求人状況

資料 13 本学における既設学科の求人件数

保健系学科入学者推移表

区分	大学区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
保健系(医学・ 歯学・薬学を除く)	大学全体	人数	42,534	44,363	44,759	46,328	47,798
		前年比増加率	-	104.3%	100.9%	103.5%	103.2%
	私立大学	人数	32,956	34,764	34,988	36,632	37,975
		前年比増加率	-	105.5%	100.6%	104.7%	103.7%

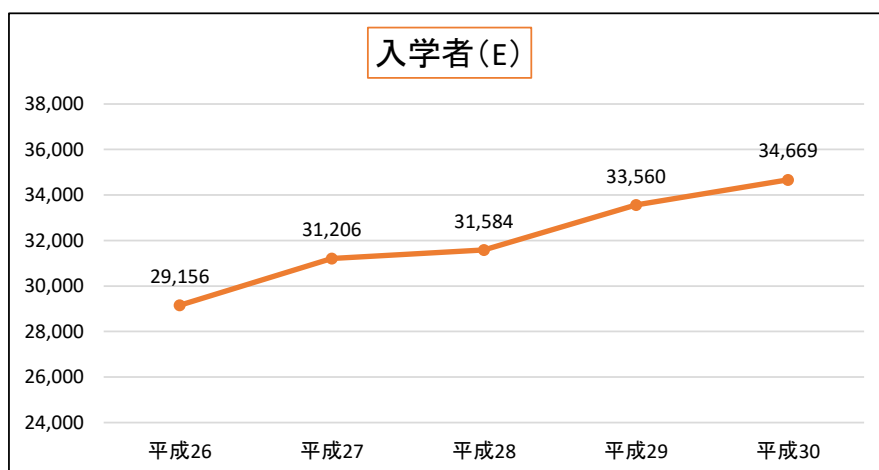
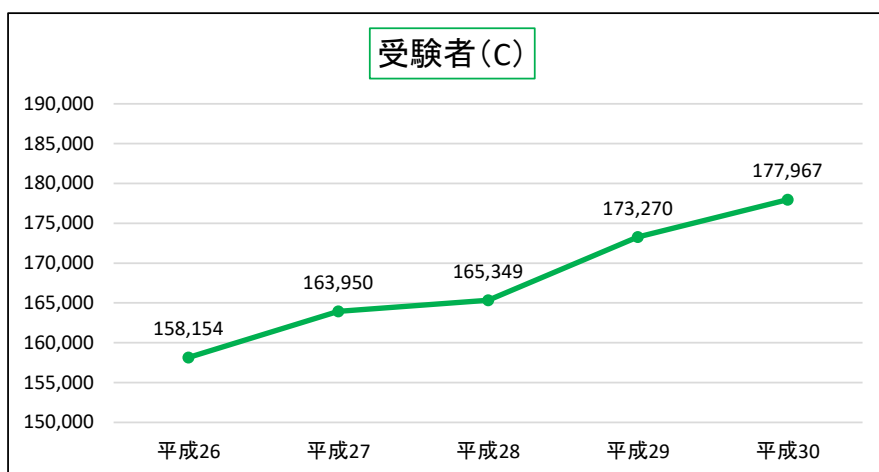
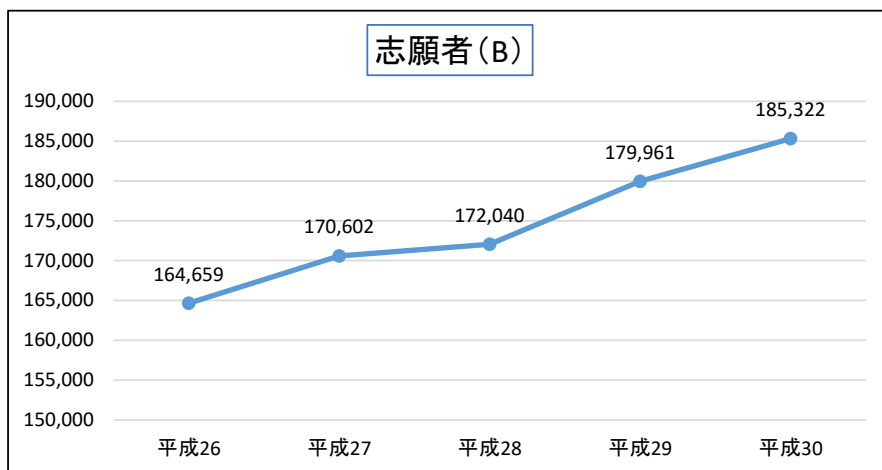
※文部科学省 学校基本調査（大学の関係学科別入学者数）保健系分野を年度ごとに抜粋【単位は人】
 ※平成30年度は速報値（2018年8月2日公表）



私立大学入学志願動向 【学部系統別の動向（大学/過去5ヵ年）】

区分	年度	集計 学部数	入学定員 (A)	志願者 (B)	受験者 (C)	合格者 (D)	入学者 (E)	志願倍率 (B/A)	合格率 (D/C)	歩留率 (E/D)	定員充足 率(E/A)
保健系	平成26	175	27,033	164,659	158,154	56,334	29,156	6.09	35.62	51.76	107.85
	平成27	192	28,998	170,602	163,950	61,599	31,206	5.88	37.57	50.66	107.61
	平成28	198	30,330	172,040	165,349	63,762	31,584	5.67	38.56	49.53	104.13
	平成29	209	32,850	179,961	173,270	67,108	33,560	5.48	38.73	50.01	102.16
	平成30	220	34,307	185,322	177,967	69,269	34,669	5.4	38.92	50.05	101.06

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋



過去5カ年の本学の入学試験状況

2019.6.13現在

(志願者数・受験者数・合格者数・競争率・入学者数・定員超過率)

学部	学科	入試実施年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率(受験者数/合格者数)	入学者数	定員超過率
保健医療学部	看護学科	H30	90	1,108	1,071	153	7.00	90	1.00
		H29	90	1,393	1,344	157	8.56	90	1.00
		H28	80	1,435	1,374	152	9.04	90	1.12
		H27	80	1,315	1,278	173	7.39	90	1.12
		H26	80	925	895	132	6.78	90	1.12
	理学療法学科	H30	70	574	560	104	5.38	70	1.00
		H29	70	712	696	100	6.96	70	1.00
		H28	60	722	705	99	7.12	70	1.16
		H27	60	792	775	103	7.52	70	1.16
		H26	60	452	443	81	5.47	70	1.16
	鍼灸学科	H30	60	151	150	97	1.55	68	1.13
		H29	60	152	149	108	1.38	70	1.16
		H28	60	183	180	113	1.59	67	1.11
		H27	60	206	201	106	1.90	67	1.11
		H26	60	152	149	102	1.46	64	1.06
	作業療法学科	H30	40	215	206	77	2.68	50	1.25
		H29	40	305	300	71	4.23	53	1.32
		H28	40	381	367	76	4.83	50	1.25
		H27	40	244	232	89	2.61	50	1.25
		H26	H28年4月開設のため入試データなし						
	臨床検査学科	H30	60	558	536	119	4.50	72	1.20
		H29	60	490	483	129	3.74	72	1.20
		H28	60	577	560	122	4.59	72	1.20
		H27	60	421	407	122	3.34	72	1.20
		H26	H28年4月開設のため入試データなし						
臨床工学科	H30	60	217	208	96	2.17	71	1.18	
	H29	60	252	248	100	2.48	70	1.16	
	H28	H30年4月開設のため入試データなし							—
	H27	H30年4月開設のため入試データなし							—
	H26	H30年4月開設のため入試データなし							—
全学科合計	H30	380	2,823	2,731	646	4.23	421	1.10	
	H29	380	3,304	3,220	665	4.84	425	1.11	
	H28	300	3,298	3,186	562	5.67	349	1.16	
	H27	300	2,978	2,893	593	4.88	349	1.16	
	H26	200	1,529	1,487	315	4.72	224	1.12	

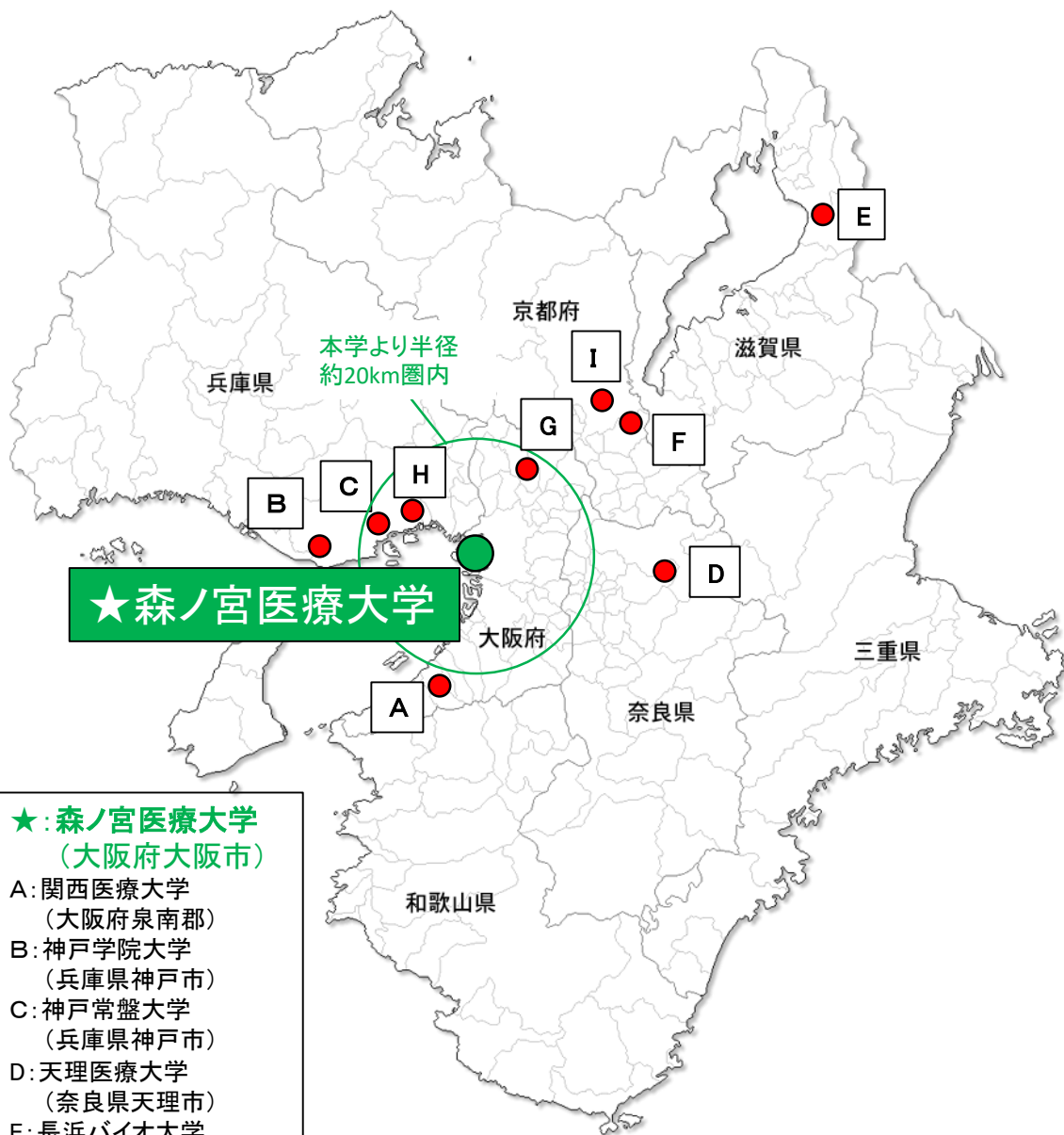
近畿エリアの臨床検査技師養成校である私立大学の入試動向

大学名	学部学科名(入学定員数)	年度	入試方法	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
森ノ宮医療大学	保健医療学部 臨床検査学科 (60名)	2018	AO入試	10	47	47	8	4.7	—
			推薦入試	20	207	204	43	10.4	—
			一般入試	30	236	232	78	7.9	—
			合計	60	490	483	129	8.2	—
		2019	AO入試	10	59	56	10	5.9	—
			推薦入試	20	231	225	46	11.6	—
			一般入試	30	268	255	63	8.9	—
			合計	60	558	536	119	9.3	—
長浜バイオ大学	バイオサイエンス学部 フロンティアバイオサイエンス学科 臨床検査学コース (30名)	2018	推薦入試	7	36	36	24	5.1	—
			一般入試	18	76	71	37	4.2	—
			センター利用方式	5	49	49	24	9.8	—
			合計	30	161	156	85	5.4	—
		2019	推薦入試	7	33	31	22	4.7	—
			一般入試	18	41	41	20	2.3	—
			センター利用方式	5	30	30	21	6.0	—
			合計	30	104	102	63	3.5	—
京都橋大学	健康科学部 臨床検査学科 (80名)	2018	AO入試	3	12	12	10	4.0	—
			推薦入試	30	199	196	94	6.6	—
			一般入試	7	626	594	80	89.4	—
			センター利用方式	40	253	249	25	6.3	—
		合計	80	1090	1051	209	13.6	—	
		2019	AO入試	3	15	15	10	5.0	—
			推薦入試	30	248	247	93	8.3	—
			一般入試	7	571	537	78	81.6	—
センター利用方式	40		289	287	27	7.2	—		
合計	80	1123	1086	208	14.0	—			
関西医療大学	保健医療学部 臨床検査学科 (60名)	2018	推薦入試	28	135	133	43	4.8	—
			一般入試	27	239	226	40	8.9	—
			センター利用方式	5	97	97	20	19.4	—
			合計	60	471	456	103	7.9	68
		2019	未公表	—	—	—	—	—	—
天理医療大学	医療学部 臨床検査学科 (30名)	2018	推薦入試	15	16	15	14	1.1	—
			一般入試	15	32	30	23	2.1	—
			合計	30	48	45	37	1.6	—
		2019	未公表	—	—	—	—	—	—
神戸学院大学	栄養学部 栄養学科 生命栄養学専攻※ (65名) ※2020年度入学生より臨床検査学専攻へ 名称変更	2018	推薦入試	18	91	91	75	5.1	18
			一般入試	31	291	287	223	9.4	31
			センター利用方式	8	35	35	31	4.4	5
			その他	8	10	10	10	1.3	10
		合計	65	427	423	339	6.6	64	
		2019	推薦入試	18	96	96	74	5.3	24
			一般入試	31	257	245	106	8.3	17
			センター利用方式	8	43	43	29	5.4	3
その他	8		17	16	16	2.1	16		
合計	65	413	400	225	6.4	60			
神戸常磐大学	保健科学部 医療検査学科 (80名)	2018	推薦入試	38	93	93	67	2.4	—
			一般入試	42	174	174	88	4.1	—
			センター利用方式含む	—	—	—	—	—	—
			合計	80	267	267	155	3.3	96
		2019	未公表	—	—	—	—	—	—
2018年度入学者選抜の合計				405	2,954	2,881	1,057	7.3	—

※参照: 旺文社「パスナビ」、各大学ホームページ

※志願倍率: 募集人数に対する志願者数の割合

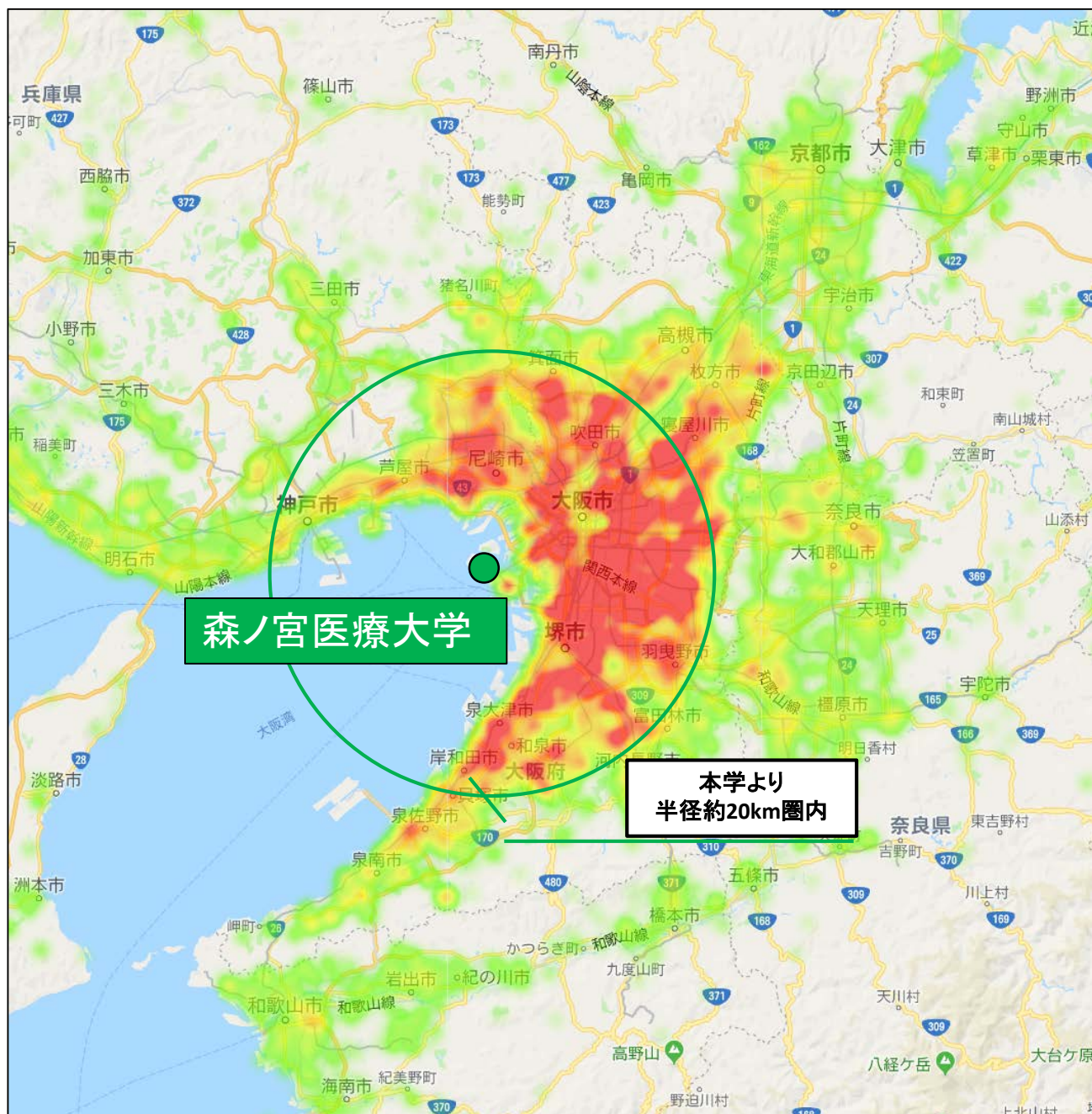
近畿エリアにおける臨床検査技師養成校である大学の位置



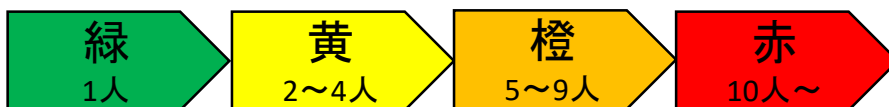
★: 森ノ宮医療大学
(大阪府大阪市)

- A: 関西医療大学
(大阪府泉南郡)
- B: 神戸学院大学
(兵庫県神戸市)
- C: 神戸常盤大学
(兵庫県神戸市)
- D: 天理医療大学
(奈良県天理市)
- E: 長浜バイオ大学
(滋賀県長浜市)
- F: 京都橘大学
(京都府京都市)
- G: 大阪大学
(大阪府吹田市)
- H: 神戸大学
(兵庫県神戸市)
- I: 京都大学
(京都府京都市)

本学出願者の居住地ヒートマップ (2018年度入試)



※本学調べ(2018年度入試 出願者の居住地)。
赤い部分ほど出願者数が多く、緑に近づくほど出願者数が少ないことを示す。

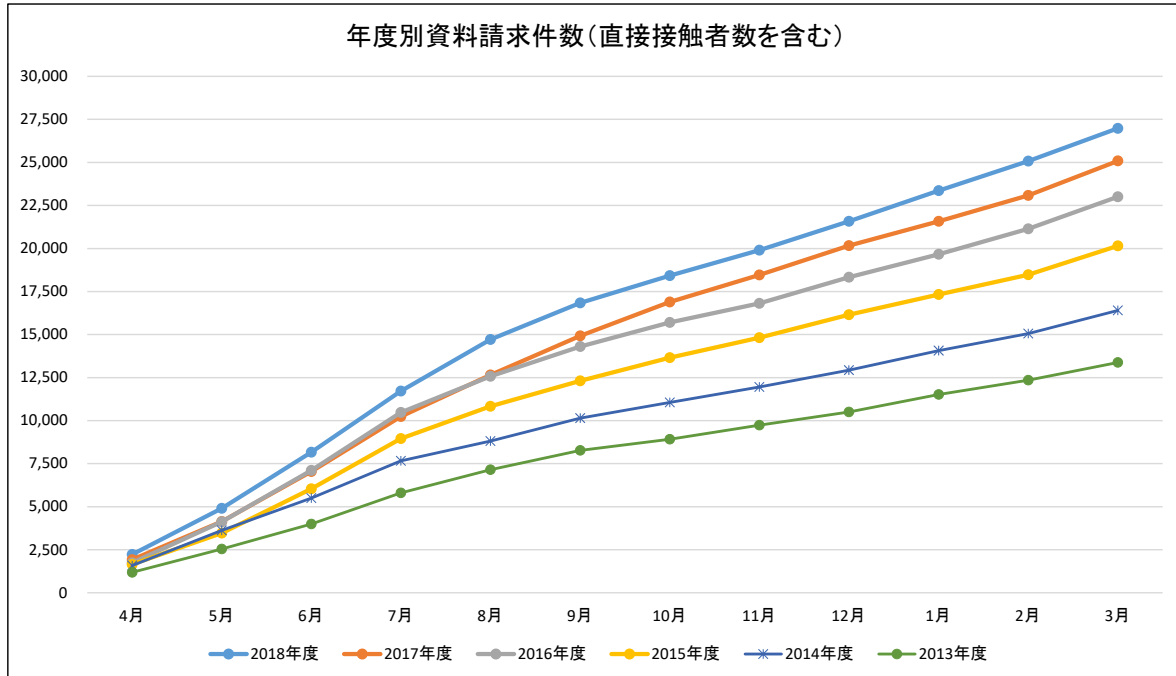


本学における年度別資料請求数（直接接触者数を含む）

資料7

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別累積請求数 (件)	2018年度	2,223	4,902	8,161	11,710	14,716	16,834	18,424	19,895	21,575	23,356	25,072	26,982	26,982
	2017年度	1,926	4,143	7,048	10,237	12,651	14,918	16,888	18,464	20,171	21,582	23,085	25,085	25,085
	2016年度	1,741	4,130	7,105	10,478	12,578	14,307	15,704	16,816	18,324	19,659	21,147	23,005	23,005
	2015年度	1,649	3,459	6,044	8,961	10,837	12,311	13,657	14,814	16,149	17,329	18,470	20,153	20,153
	2014年度	1,579	3,619	5,502	7,668	8,808	10,143	11,058	11,960	12,935	14,065	15,057	16,401	16,401
	2013年度	1,186	2,545	3,999	5,802	7,150	8,277	8,911	9,741	10,507	11,517	12,348	13,378	13,378

※2019年3月末日現在



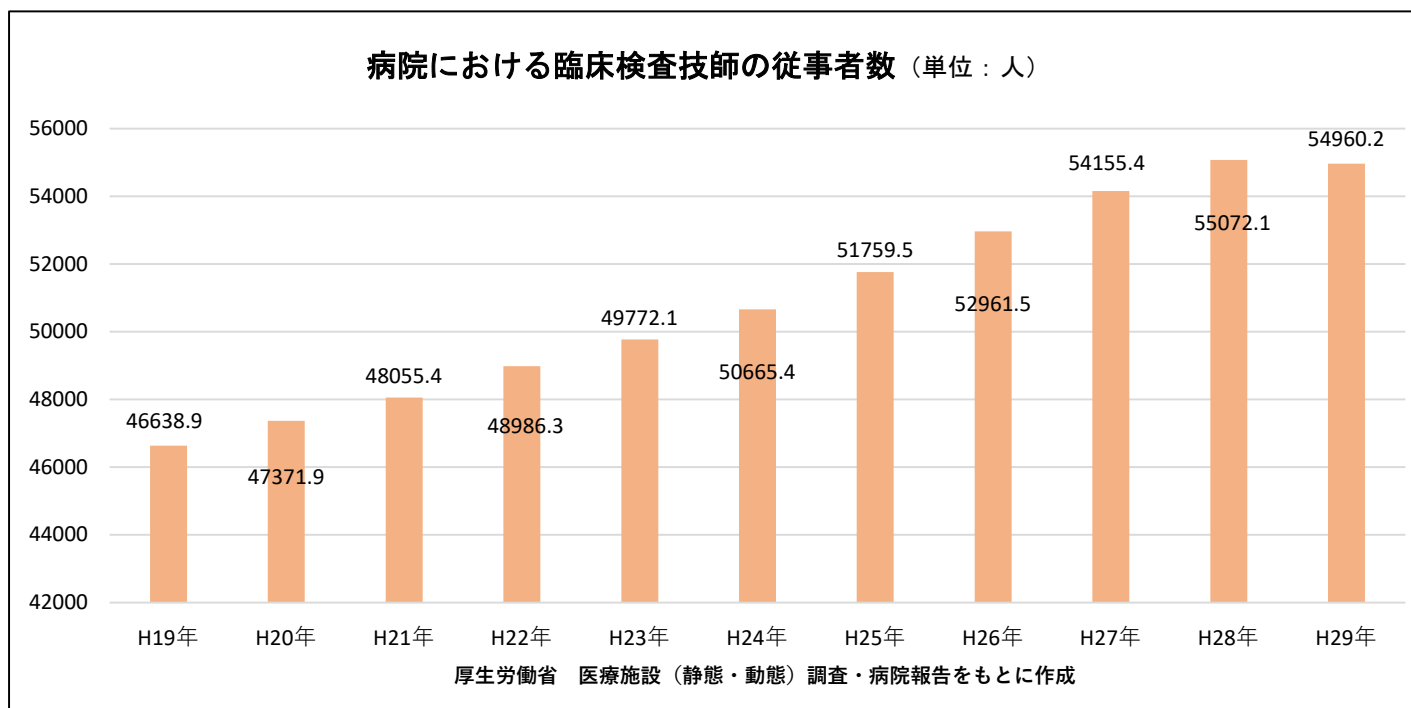
病院における臨床検査技師数

令和元年6月13日現在

(単位：人)

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
臨床検査技師	46638.9	47371.9	48055.4	48986.3	49772.1	50665.4	51759.5	52961.5	54155.4	55072.1	54960.2

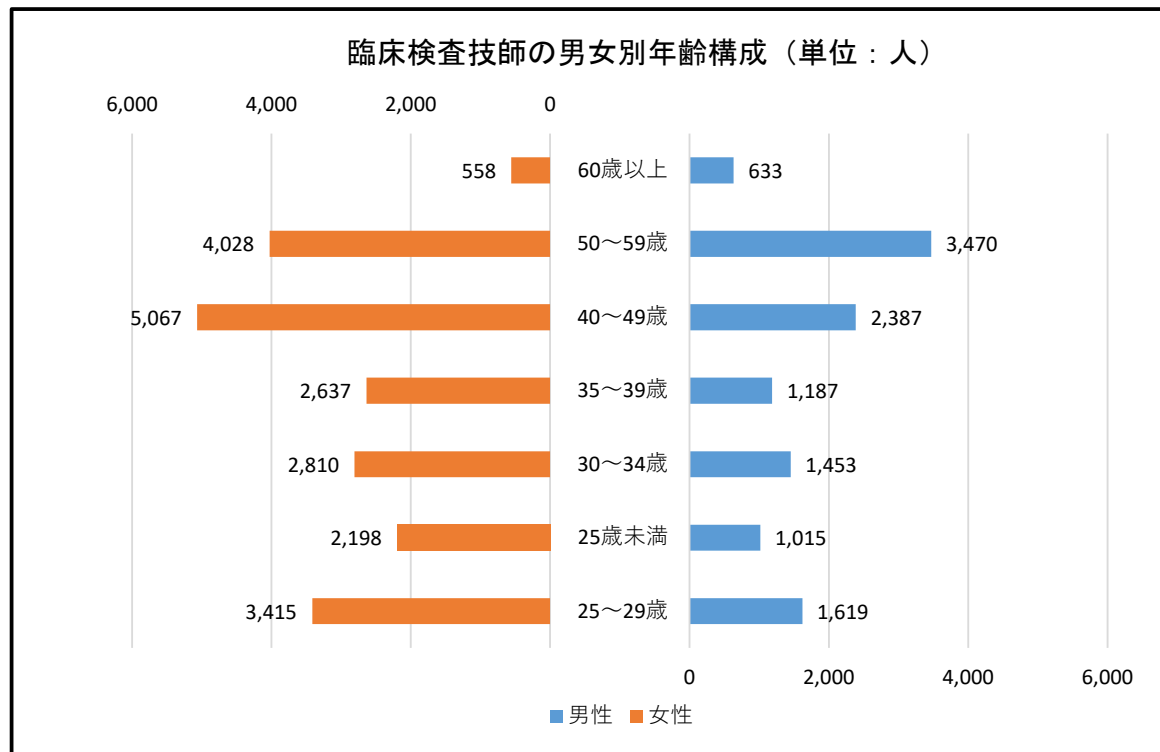
厚生労働省 医療施設（静態・動態）調査・病院報告をもとに作成



臨床検査技師の男女別年齢構成

年齢	男性	女性
25～29歳	1,619	3,415
25歳未満	1,015	2,198
30～34歳	1,453	2,810
35～39歳	1,187	2,637
40～49歳	2,387	5,067
50～59歳	3,470	4,028
60歳以上	633	558
合計	11,764	20,713

(単位：人)



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 H29年度の各種報告書をもとに作成

近畿エリアの臨床検査技師養成校一覧

(令和元年6月13日現在)

※参照：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会

※参照：旺文社「パスナビ」、各大学HP

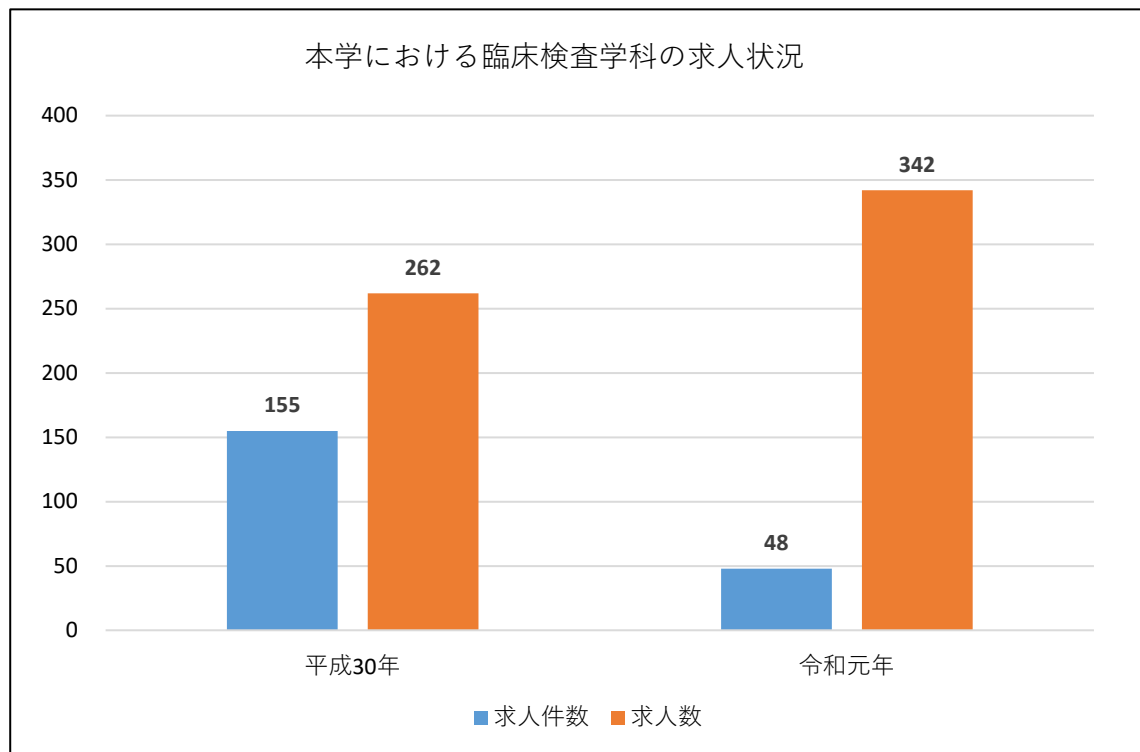
番号	都道府県	設置者	種別	名称	郵便番号	住所	平成31年度 入学定員	平成26年度 入学定員
1	大阪府	私立	大学	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	559-8611	大阪市住之江区南港北1-26-16	60名	—
2	滋賀県	私立	大学	長浜バイオ大学 フロンティアバイオサイエンス学部 臨床検査コース	526-0829	長浜市田村町1266	30名	—
3	京都府	私立	専門	京都保健衛生専門学校 臨床検査学科 (第一：昼間 第二：夜間)	602-8155	京都市上京区千本通竹屋町東入主税 町910	昼間：40名 夜間：40名	昼間：40名 夜間：40名
4	京都府	私立	大学	京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科	607-8175	京都市山科区大宅山田町34	80名	—
5	京都府	国立	大学	京都大学 医学部 人間健康科学科 総合医療科学コース	606-8507	京都市左京区聖護院川原町53番地	学科一括募集 のため コース別不明	37名
6	大阪府	国立	大学	大阪大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	565-0871	吹田市山田丘1-7	40名	40名
7	大阪府	私立	大学	関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	590-0482	泉南郡熊取町若葉2-11-1	60名	50名
8	大阪府	私立	専門	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科	530-0044	大阪市北区東天満2-1-30	80名	80名
9	大阪府	私立	専門	大阪行岡医療専門学校 長柄校 臨床検査科	531-0061	大阪市北区長柄西1-7-53	40名	40名
10	大阪府	私立	専門	日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科	577-0803	東大阪市内小阪4-12-3	80名	80名
11	奈良県	私立	大学	天理医療大学 医療学部 臨床検査学科	632-0018	天理市別所町80-1	30名	30名
12	兵庫県	国立	大学	神戸大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	654-0142	神戸市須磨区友ヶ丘7-10-2	40名	40名
13	兵庫県	私立	大学	神戸学院大学 栄養学部 栄養学科 生命栄養学専攻※ ※2020年度入学生より臨床検査学専 攻へ名称変更	651-2180	神戸市西区伊川谷町有瀬518	65名	65名
14	兵庫県	私立	大学	神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	653-0838	神戸市長田区大谷町2-6-2	80名	80名

近畿2府4県の養成校 14校 (大学10校 専門学校4校)
うち、大阪府の養成校 6校 (大学3校 専門学校3校)

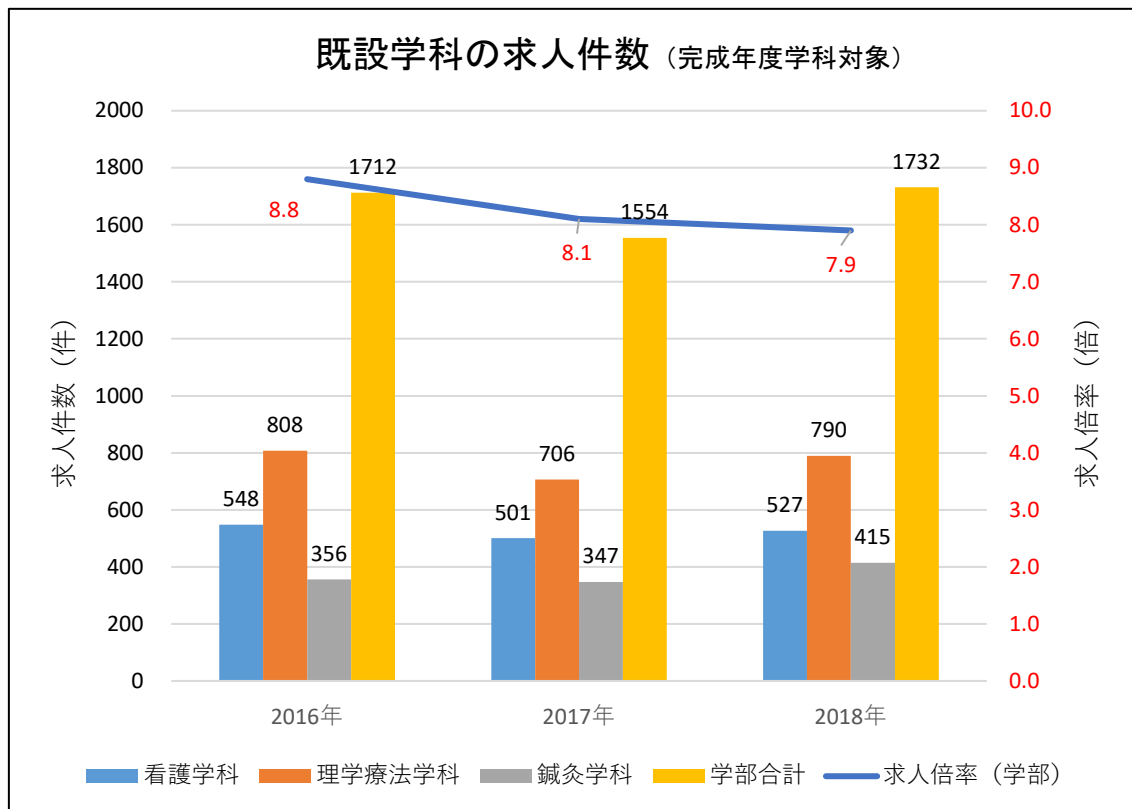
本学における臨床検査学科の求人状況（令和元年5月17日現在）

	平成30年	令和元年
求人件数	155	48
求人数	262	342

※臨床検査学科の完成年度は令和元年



本学における既設学科の求人件数（過去3年分）



※棒グラフ→学部・学科の求人件数を示す。

※折れ線グラフ→学部の求人倍率を示す。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	オギハラノ 荻原俊男 <平成23年4月1日>		医学博士		森ノ宮医療大学学長 (平成23.4~令和3.3)